

令和8年度

和歌山大学入学者選拔要項

和歌山大学入学者選抜日程

大学入学共通テスト：１月17日(土)、１月18日(日)

選抜区分	学 部 等	大学入学 共通テストを 課す選抜	出願期間	選抜期日	合格者発表日	入学手続期限
一 般 選 抜 (前期日程)	教 育 学 部	○	1月26日(月)～ 2月4日(水)	2月25日(水)	3月6日(金)	3月15日(日)
	経 済 学 部	○		2月25日(水)		
	システム工学部	○		2月25日(水)		
	観 光 学 部	○		2月25日(水)		
	社会インフォマ ティクス学環	○		2月25日(水)		
一 般 選 抜 (後期日程)	教 育 学 部	○	1月26日(月)～ 2月4日(水)	3月12日(木)	3月21日(土)	3月27日(金)
	経 済 学 部	○		3月12日(木)		
	システム工学部	○		3月12日(木)		
	観 光 学 部	○		——(※注)		
学校推薦型選抜	教 育 学 部	○	12月16日(火)～ 12月18日(木)	1月31日(土)	2月10日(火)	2月17日(火)
	経 済 学 部		11月4日(火)～ 11月7日(金)	12月6日(土)～ 12月7日(日)	12月19日(金)	2月17日(火)
	システム工学部	○	12月12日(金)～ 12月18日(木)	1月31日(土)	2月10日(火)	2月17日(火)
	観 光 学 部	○	11月18日(火)～ 11月20日(木)	12月13日(土)又は 12月14日(日)	2月10日(火)	2月17日(火)
	社会インフォマ ティクス学環	○	12月5日(金)～ 12月11日(木)	1月23日(金)	2月10日(火)	2月17日(火)
学校推薦型選抜 (きのくに教員希望枠)	教 育 学 部		11月4日(火)～ 11月6日(木)	11月22日(土)	12月1日(月)	2月17日(火)
学校推薦型選抜 (地域【紀南】推薦枠)	教 育 学 部		11月4日(火)～ 11月6日(木)	11月22日(土)	12月1日(月)	2月17日(火)
学校推薦型選抜 (スポーツ)	経 済 学 部		11月4日(火)～ 11月7日(金)	12月6日(土)～ 12月7日(日)	12月19日(金)	2月17日(火)
学校推薦型選抜 (簿 記)	経 済 学 部		11月4日(火)～ 11月7日(金)	12月6日(土)～ 12月7日(日)	12月19日(金)	2月17日(火)
学校推薦型選抜 (女 子 枠)	システム工学部		11月4日(火)～ 11月7日(金)	11月29日(土)	12月5日(金)	2月17日(火)
帰国生徒選抜	経 済 学 部		11月4日(火)～ 11月7日(金)	11月27日(木)	12月19日(金)	2月17日(火)
社 会 人 選 抜	経 済 学 部		11月4日(火)～ 11月7日(金)	11月27日(木)	12月19日(金)	2月17日(火)
	観 光 学 部		11月18日(火)～ 11月20日(木)	12月13日(土)	2月10日(火)	2月17日(火)
総 合 型 選 抜	観 光 学 部		9月1日(月)～ 9月3日(水)	第1次選考： 書類選考 第2次選考： 10月18日(土)、 10月19日(日)	第1次選考結果： 9月24日(水)まで に郵送 第2次選考結果： 11月4日(火)	2月17日(火)
私費外国人留学生 選 抜	経 済 学 部		8月22日(金)～ 9月10日(水)	10月11日(土)	10月31日(金)	2月17日(火)
	システム工学部					
	観 光 学 部					

※注 観光学部的一般選抜後期日程において、個別学力検査等は課しません。

目 次

和歌山大学入学者選抜日程

入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)	1
入学定員及び募集人員	7
一般選抜	9
出願資格	9
出願上の注意事項	9
受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談	10
実施方式及び併願について	11
入学者選抜方法等	11
入学者選抜実施教科・科目等	12
教育学部実技検査内容	20
個別学力検査等実施教科・科目の試験時間	22
特別選抜	23
学校推薦型選抜(教育学部・経済学部・システム工学部・観光学部・社会インフォマティクス学環)	23
帰国生徒選抜(経済学部)	34
社会人選抜(経済学部・観光学部)	35
総合型選抜(観光学部)	37
私費外国人留学生選抜(経済学部・システム工学部・観光学部)	39
学生募集要項等の発表及び請求方法	41
学部等の紹介	44
入試に関する問合せ先	51

入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

大学の入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

高等学校あるいはこれに相当する教育機関等における学習や活動を通して、次の知識・技能、能力、態度を有する人を求める。

(1)知識・技能

- ・本学での学修に必要なとなる知識・技能を有する人

(2)思考力・判断力・表現力

- ・課題解決に取り組むための基礎となる思考力・判断力・表現力を有する人

(3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・多様で広い知的関心をもち、他者と関わって、主体的に学ぼうとする意欲や態度を有する人
- ・身につけた知識や技能を活用し、課題解決に取り組む意欲や態度を有する人

【入学後の期待】

入学時に求められる知識・技能、能力、態度をもとに、各学部・学環の専門教育及び教養教育を学修することができるレベルにまで資質・能力を高めることを期待する。

2. 入学者選抜の基本方針

本学が求める資質・能力を適切に評価するために、各学部・学環の特性を踏まえた選抜方法により実施する。

教育学部 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

教育学部では、卒業後に学校教員への就職を志望する、次の各要素を備えた人物を求める。

(1)知識・技能

- ・これまでの学びを通して大学入学後の専門的知識を学ぶための基礎となる知識・技能を有する人

(2)思考力・判断力・表現力

- ・課題解決に主体的に取り組むための基礎となる思考力・判断力・表現力を有する人

(3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・多様で広い知的関心をもち、他者と関わって学ぼうとする意欲や態度を有する人
- ・身につけた知識や技能を活用し、課題解決に取り組む意欲や態度を有する人

【入学後の期待】

入学時に求められる知識・技能、能力、態度をもとに、生涯にわたって「地域とともに学びの未来を拓く教師」として必要な基盤を獲得することを期待する。

2. 入学者選抜の基本方針

- (1)一般選抜（前期日程）では、知識・技能については大学入学共通テスト及び個別学力検査等により、また、思考力・判断力・表現力及び主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度については面接により評価し、入学者を選抜する。
- (2)一般選抜（後期日程）では、知識・技能については大学入学共通テストにより、また、思考力・判断力・表現力及び主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度については面接により評価し、入学者を選抜する。
- (3)学校推薦型選抜では、学校教育に興味を持ち、教職を目指す者として出身学校長より推薦を受けた者のうち、知識・技能については大学入学共通テストにより、また、思考力・判断力・表現力及び主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度については面接並びに出願書類により総合的に評価し、入学者を選抜する。
- (4)学校推薦型選抜（きのくに教員希望枠）では、学校教育に興味を持ち、教職を目指す者として出身学校長より推薦を受けた者のうち、知識・技能については小論文により、思考力・判断力・表現力及び主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度については面接並びに出願書類により総合的に評価し、入学者を選抜する。
- (5)学校推薦型選抜（地域【紀南】推薦枠）では、学校教育に興味を持ち、教職を目指す者として出身学校長より推薦を受けた者のうち、知識・技能については小論文により、思考力・判断力・表現力及び主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度については面接並びに出願書類により総合的に評価し、入学者を選抜する。

経済学部 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

これまでの学びの機会を通して、次の知識・技能、能力、態度を身につけようとしてきた人を求める。

(1)知識・技能

- ・社会の複合的な課題を発見・理解するための幅広い基礎的知識を有する人

(2)思考力・判断力・表現力

- ・認識した課題を分析・解決するための思考力・判断力・表現力を有する人

(3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・解に至る道筋を粘り強く考え続ける能力を有する人
- ・課題解決の実践にあたり、多様な人々と対話し、協働するためのコミュニケーション能力と意欲を有する人

【入学後の期待】

入学後には、自らがさらに努力を重ね、多くの人と関わり合いながら、経済・社会の活動に関わる諸問題に一層の関心を持ち、これまでに身につけた能力を磨くとともに、複数の専門領域を包摂した教育課程を通して、次の知識・技能、能力を身につけることを期待する。

(1)経済学、経営学、会計学、情報学、法学などを中心とした専門知識

(2)専門知識を領域横断的に活用した理解力、思考力、表現力

(3)主体的に学び、考え、多様な人々と協働する能力

2. 入学者選抜の基本方針

- (1)一般選抜（前期日程）では、大学入学共通テストと個別学力検査等により入学者を選抜する。
大学入学共通テストにおいては、高等学校教育の成果として身につけた各教科の知識・技能や思考力・判断力・表現力等を評価する。個別学力検査等においては、経済学部で学修するのに必要な知識・技能や思考力・判断力・表現力等を英語と数学の側面から評価する。
- (2)一般選抜（後期日程）では、大学入学共通テストと個別学力検査等により入学者を選抜する。
大学入学共通テストにおいては、外国語の理解力と特定分野の知識を、優れた成績を収めた科目に配慮し評価する。個別学力検査等においては小論文を課し、論理的に考え、判断し、論述する力を評価する。特に、社会科学を学ぶ上で必要な知識、並びにそれを活用する能力を重視する。
- (3)学校推薦型選抜では、高等学校等において身につける学力のうち、基本的な知識の修得状況と学ぶ意欲、社会科学を学ぶ上で必要な理解力（読解力）・論理的な思考力・表現力（文章力）、他者との議論や協働的な活動の礎となるコミュニケーション能力を、それぞれ出願書類、小論文、及び集団討論により評価し、入学者を選抜する。
- (4)学校推薦型選抜（スポーツ）では、高等学校等において身につける学力のうち、社会科学を学ぶ上で必要な理解力（読解力）・論理的な思考力・表現力（文章力）を小論文により評価する。これに加えて、基本的な知識の修得状況、顕著な成績を収めたスポーツ活動において培われた主体性や多様な人々と協働する力、及びスポーツの実践、普及、振興についての関心を出願書類と面接により評価し、入学者を選抜する。
- (5)学校推薦型選抜（簿記）では、高等学校等において身につける学力のうち、社会科学を学ぶ上で必要な理解力（読解力）・論理的な思考力・表現力（文章力）を小論文により評価する。これに加えて、基本的な知識の修得状況、及び経済・経営・商業活動に関する知識・技能・思考力を出願書類と面接により評価し、入学者を選抜する。
- (6)社会人選抜では、高等学校等の卒業後の社会人経験とそこから得た知見、及び生涯にわたり学び続ける姿勢などを出願書類及び面接により評価し、入学者を選抜する。
- (7)帰国生徒選抜では、諸外国での学びと日本における学びのためになされた種々の活動を面接と出願書類により評価し、入学者を選抜する。
- (8)私費外国人留学生選抜では、諸外国での学びを通して得た基礎的な知識と日本に留学するにあたってなされた学びの成果を日本留学試験と出願書類により評価する。あわせて日本語の運用能力を面接により評価し、入学者を選抜する。
- (9)第3年次一般編入学選抜では、他大学等での学修により身につけた経済学・経営学などに関する知識とそれを活用する思考力・判断力・表現力、及び英語の運用能力をそれぞれ小論文と出願書類により評価する。あわせて、他者と協働・協調する力、あるいは他者をリードする力を面接により評価し、入学者を選抜する。
- (10)第3年次推薦編入学選抜では、他大学等での学修により身につけた経済学・経営学などに関する知識とそれを活用する思考力・判断力・表現力、及び英語の運用能力を出願書類により評価する。あわせて、他者と協働・協調する力、あるいは他者をリードする力を面接により評価し、入学者を選抜する。

システム工学部 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

システム工学部において入学者に求める知識・技能、能力、態度は次のとおりである。

(1)知識・技能

- これまでの学びを通して大学入学後の複数の科学・技術領域を見通し、情報教育を基盤として複合的に工学系分野の専門を学ぶための基礎となる学力・技能、特に理数系における確かな知識を有する人

(2)思考力・判断力・表現力

- 課題を解決するための思考力・判断力を有する人
- 意見や考えを他者や社会に分かりやすく伝えるための表現力を有する人

(3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- 他者を尊重し、その意見を受け入れる柔軟性、協調性を有する人
- 何事にも好奇心・探求心を持ち、創造力を身につけようとする真摯な態度を有する人

【入学後の期待】

入学後には、自ら学び考える力を持ち、次の観点から、学術・産業研究を含む広範な工学系分野で活躍する自律的な技術者を目指すことを求める。

- (1)自分自身の思い描くキャリアパスを客観的に考え、それに応じた2つのメジャーを選択すること
- (2)情報技術に関する基礎知識・技能と、メジャーが提供する専門知識・技能を主体的に修得し、時代や社会が求める実践的な力を身につけること
- (3)異なる知識や技能を、断片的にではなく体系化して身につけ、課題を解決する能力へと高めること
- (4)課題解決に向けて、他者と協働して取り組む能力や意見や考えを論理的に伝えるコミュニケーション能力を身につけること
- (5)広範な視野で専門をより深化させ、産業や社会のニーズに即応できる実践力と創造性を養うこと

2. 入学者選抜の基本方針

- (1)一般選抜（前期日程）では、高等学校等で学んだ各教科の基本的な知識を大学入学共通テストにより、数学的思考力と英語の理解力を個別学力検査等により評価し、入学者を選抜する。
- (2)一般選抜（後期日程）では、高等学校等で学んだ各教科の基本的な知識を大学入学共通テストにより、システム工学を学ぶにふさわしい能力・適性を個別学力検査等により評価し、入学者を選抜する。
- (3)学校推薦型選抜では、明確な目的意識をもって入学を希望し、かつ、出身学校長より推薦を受けた者のうち、高等学校等で学んだ各教科の基本的な知識を大学入学共通テストにより、目的意識や学修意欲などを面接及び出願書類により総合的に評価し、入学者を選抜する。
- (4)学校推薦型選抜（女子枠）では、高等学校等で学んだ各教科の基本的な知識を有し、「自ら取り組む意欲」が高く、明確な目的意識をもって入学を希望し、かつ、出身学校長より推薦を受けた者のうち、「探究的な学習」等の取組みにおいて優れた研究を行い、また、発想力が豊かで行動力があると認められる者を面接及び出願書類により総合的に評価し、入学者を選抜する。
- (5)私費外国人留学生選抜では、日本に留学するためになされた学びの成果を日本留学試験、出願

書類、面接により評価する。あわせて、入学後の学修に必要な理解力、論理的思考力、日本語運用能力を面接により評価し、入学者を選抜する。

(6)第3年次推薦編入学選抜では、高等専門学校等での学修により身につけた工学系学部に関する基礎学力や専門に対する適性を面接と出願書類により評価する。あわせて、目的意識や学修意欲などを面接により評価し、入学者を選抜する。

(7)第3年次一般編入学選抜では、高等専門学校等での学修により身につけた工学系学部に関する専門知識などを学力検査により評価する。あわせて、高等専門学校等での学修により身につけた工学系学部に関する専門知識・技能や目的意識、学修意欲などを面接により評価し、入学者を選抜する。

観光学部 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

観光学部において入学者に求める知識・技能、能力、態度は次のとおりである。

(1)知識・技能

- ・観光学部における専門分野の学修に必要な基礎学力を有する人

(2)思考力・判断力・表現力

- ・主体的かつ積極的に課題に挑戦するための基礎的な思考力・判断力・表現力を有する人

(3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・新しいものごとへの好奇心・探究心、多様な文化・歴史・地理・言語や現代の社会情勢に対する幅広い関心を持ち、他者と関わって学ぼうとする意欲や態度を有する人
- ・身につけた知識や技能を活用し、主体的かつ創造的に課題解決に取り組む意欲や態度を有する人

【入学後の期待】

入学時に求められる知識・技能、能力、態度をもとに、観光に関わる諸問題に一層の関心を持ち、観光学部の専門教育及び教養教育を学修することができるレベルまで資質・能力を高めることを求める。

2. 入学者選抜の基本方針

(1)一般選抜（前期日程）では、入学後の専門知識と教養を学ぶ基礎となる学力を大学入学共通テストにより、また、思考力・判断力・表現力・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ意欲や態度を個別学力検査等により総合的に評価し、入学者を選抜する。

(2)一般選抜（後期日程）では、観光学を学ぶ上で必要となる幅広い知識・学力（汎用的能力）を大学入学共通テストにより評価し、入学者を選抜する。

(3)総合型選抜では、入学後の学修に必要な思考力・判断力・表現力・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ意欲や態度を書類審査、指定された課題のプレゼンテーション、出願書類等に基づいた面接により多面的に評価し、入学者を選抜する。

(4)学校推薦型選抜では、入学後の専門知識と教養を学ぶ基礎となる学力を大学入学共通テストにより、また、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ意欲や態度を高等学校等で意欲的に取り組んだ活動実績、資格取得等により、さらに入学後の学修に必要な思考力・判断力・表現力を面接及び出願書類により総合的に評価し、入学者を選抜する。

- (5)社会人選抜では、入学後の学修に必要な理解力・論理的思考力・判断力・表現力を小論文により、また、高等学校等卒業後の社会人経験とそこから得た知見、及び生涯にわたり学び続ける意欲や態度を出願書類及び面接により総合的に評価し、入学者を選抜する。
- (6)私費外国人留学生選抜では、入学後の学修に必要な理解力・論理的思考力・判断力・表現力に加え、諸外国での学びを通して得た基礎的な知識と日本に留学するにあたっての学ぶ意欲や態度、日本語運用能力を日本留学試験、出願書類、面接により総合的に評価し、入学者を選抜する。

社会インフォマティクス学環 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

社会インフォマティクス学環において入学者に求める知識・技能、能力、態度は次のとおりである。

(1)知識・技能

- ・本学での学修に必要なとなる知識・技能を有する人

(2)思考力・判断力・表現力

- ・課題解決に取り組むための基礎となる思考力・判断力・表現力を有する人

(3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・多様で広い知的関心を持ち、他者と関わって、主体的に学ぼうとする意欲や態度を有する人
- ・身につけた知識や技能を活用し、課題解決に取り組む意欲や態度を有する人

【入学後の期待】

入学後においては、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえ、複数の専門領域を包摂した教育課程を通して、テクノロジーに基づく柔軟性を持ち、かつ、社会的通用性を備えた人材として、次の知識・技能、能力を身につけることを期待する。

(1)ビジネスサイエンス力

社会の現場で必要とされる、社会科学分野のファンダメンタルなモデルを、データエビデンスベースの工学的アプローチを用いて、幅広い知識やノウハウを活用することができる。

(2)データ利活用力

社会に存在するデータを利用し、何を活用できるのか、また、新たにどのような観点で情報収集すべきかを思考できる。さらには、データを分析し、それを検証して将来の予測に活かすことができる。

(3)企画力・実践力・発信力

データ分析から導き出された成果を社会の様々な活動に適用し、社会の活性化や新たな付加価値創出につなげていくことができる。

2. 入学者選抜の基本方針

- (1)一般選抜（前期日程）では、高等学校等で学んだ各教科の基礎的な学習の達成の程度を大学入学共通テストにより、数的理解力、思考力・判断力・表現力については個別学力検査等において評価し、入学者を選抜する。
- (2)学校推薦型選抜では、高等学校等で学んだ各教科の基本的な知識を大学入学共通テストにより、社会科学ならびにデータエビデンスのアプローチを学ぶ上で必要な思考力・判断力・表現力及び他者との議論や協働的な活動の礎となるコミュニケーション能力を面接により評価し、入学者を選抜する。

入学定員及び募集人員

学部等	学科・課程	入学定員	募 集 人 員											
			一般選抜		特 別 選 抜									
			前期日程	後期日程	学 校 推薦型 選 抜	学 校 推薦型 選 抜 (きのくに教員 希望枠)	学 校 推薦型 選 抜 (地域【紀南】 推薦枠)	学 校 推薦型 選 抜 (スポーツ)	学 校 推薦型 選 抜 (簿 記)	学 校 推薦型 選 抜 (女子枠)	帰国生徒 選 抜	社会人 選 抜	総合型 選 抜	私 費 外 国 留 学 生 選 抜
教育学部	学校教育教員養成課程	135	70 (備考1 参照)	20 (備考1 参照)	25 (備考2 参照)	10 (備考2 参照)	10 (備考2 参照)	—	—	—	—	—	—	—
	小 計	135	70	20	25	10	10	—	—	—	—	—	—	—
経済学部	経済学科	290	170	80	30	—	—	4	6	—	若干名	若干名	—	若干名
	小 計	290	170	80	30	—	—	4	6	—	—	—	—	—
システム工学部	システム工学科	320	170	110	30	—	—	—	—	10	—	—	—	若干名
	小 計	320	170	110	30	—	—	—	—	10	—	—	—	—
観光学部	観光学科	115	60	5	30	—	—	—	—	—	—	若干名	20	若干名
	小 計	115	60	5	30	—	—	—	—	—	—	—	20	—
社会インフォマティクス学環		30	20	—	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小 計	30	20	—	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計		890	490	215	125	10	10	4	6	10	—	—	20	—

- 注1 特別選抜の学校推薦型選抜、学校推薦型選抜(きのくに教員希望枠)、学校推薦型選抜(地域【紀南】推薦枠)、学校推薦型選抜(スポーツ)、学校推薦型選抜(簿記)、学校推薦型選抜(女子枠)、総合型選抜の合格者が、募集人員に満たない場合には、その差を一般選抜前期日程の募集人員に加えます。
- 注2 経済学部、システム工学部、観光学部の一般選抜前期日程の募集人員には、私費外国人留学生選抜の募集人員若干名を含みます。
- 注3 経済学部の一般選抜後期日程及び観光学部の一般選抜前期日程の募集人員には、特別選抜の帰国生徒選抜、社会人選抜の募集人員若干名を含みます。

〔備考〕

- 1 教育学部の学校教育教員養成課程の一般選抜は、次のとおり募集します。

系	専 攻	募集人員	
		前期日程	後期日程
文科系		32	10
理科系		20	10
実技系	音楽又は美術	8	
	保 健 体 育	10	
計		70	20

- (注)①文科系又は理科系を受験し、合格した人は、入学後に各コース(学校教育コース、支援教育コース)への所属を決定します。
- ②実技系を受験し、合格した人は、入学後に学校教育コースへの所属となります。

- 2 教育学部の学校教育教員養成課程の学校推薦型選抜は、次のとおり募集します。

選抜名称	募集区分	募集人員
学校推薦型選抜	学校教育コース	20
	支援教育コース	5
学校推薦型選抜（きのくに教員希望枠）		10
学校推薦型選抜（地域【紀南】推薦枠）		10
計		45

（注）学校推薦型選抜を受験し、合格した人は、入学後、コースの変更を認めません。

- 3 教育学部の学校教育教員養成課程の募集区分と入学後のコース等の対応は下表のとおりです。
〈一般選抜〉

募集区分		入学後のコース（専攻）
文科系		学校教育コース（教育学、心理学、幼児教育、国語教育、英語教育、社会科教育、家政教育、音楽教育、美術教育、保健体育） 支援教育コース（特別支援教育）
理科系		学校教育コース（教育学、心理学、幼児教育、数学教育、科学教育、家政教育、音楽教育、美術教育、保健体育） 支援教育コース（特別支援教育）
実技系	音楽又は美術	学校教育コース（音楽教育、美術教育） （実技試験で音楽を選択したものは音楽教育を、美術を選択したものは美術教育をそれぞれ専攻する）
	保健体育	学校教育コース（保健体育）

（注）上記の欄は変更されることがあります。

〈学校推薦型選抜〉（学校教育コース、支援教育コース）

募集区分		入学後のコース（専攻）
学校教育コース	文科系	教育学、心理学、幼児教育、国語教育、英語教育、社会科教育、家政教育、音楽教育、美術教育、保健体育
	理科系	教育学、心理学、幼児教育、数学教育、科学教育、家政教育、音楽教育、美術教育、保健体育
支援教育コース	特別支援教育	

（注）上記の欄は変更されることがあります。

〈学校推薦型選抜〉（きのくに教員希望枠）及び（地域【紀南】推薦枠）

選択した系	入学後のコース（専攻）
文科系	学校教育コース（教育学、心理学、幼児教育、国語教育、英語教育、社会科教育、家政教育、音楽教育、美術教育、保健体育） 支援教育コース（特別支援教育）
理科系	学校教育コース（教育学、心理学、幼児教育、数学教育、科学教育、家政教育、音楽教育、美術教育、保健体育） 支援教育コース（特別支援教育）

（注）上記の欄は変更されることがあります。

一般選抜

出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ各学部・学科等が指定する令和8年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目（12～19ページ参照）を受験した者

1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月までに卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第1号から第5号の2の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和8年3月31日までにこれらに該当する見込みの者
これらの者は以下のとおり。
 - ①外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和8年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和8年3月31日までに修了見込みの者
 - ③専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和8年3月31日までに修了見込みの者
 - ④文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
 - ⑤高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和8年3月31日までに合格見込みの者で、令和8年3月31日までに18歳に達するもの
 - ⑥高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年度文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者及び令和8年3月31日までに合格見込みの者で、令和8年3月31日までに18歳に達するもの
4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者及び令和8年3月31日までに18歳に達するもの

出願上の注意事項

（注1）令和8年度大学入学共通テストで各学部・学科等が指定する教科・科目を受験していなければ、出願資格を満たしていないことになり出願できません。本学は、過年度の大学入試センター試験及び大学入学共通テストの成績は利用しません。

（注2）個別の入学資格審査の申請方法等

上記出願資格の4により一般選抜に出願しようとする者は、個別の入学資格審査を行いますので下記を参照の上申請してください。

（申請方法・受付期間）

※事前に提出書類等の指示を行いますので、必ず「申請書類等受付期間」開始前に下記照会先に問い合わせてください。

申請書類等の提出方法は、持参・郵送により受付します。

窓口受付時間は、9時から17時（12時から13時を除く）までとします。

郵送の場合は、封筒表に「一般選抜 入学資格審査提出書類在中」と朱書きし、書留速達郵便にて受付期間内までに和歌山大学入試課に必着するよう郵送してください。

なお、各回受付期間最終日17時を超えて到着のものは受理しません。

※申請書類に不備がある場合は、申請を受付しないことがありますので十分注意してください。

※申請書類等受理後、別途必要書類を求める場合があります。

（申請書類等受付期間）

第1回 令和7年8月19日(火)～8月20日(水)【17時までに入試課必着】

第2回 令和8年1月19日(月)～1月21日(水)【17時までに入試課必着】

（照会先・申請書類等提出先）

〒640-8510 和歌山市栄谷930

和歌山大学入試課 TEL073-457-7116（直通）

（審査結果）

審査の結果、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者に対し、「和歌山大学入学資格認定書」を申請者宛に書留速達郵便にて郵送します。

受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障害のある者等、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、事前に電話連絡した上で事前相談の申請をしてください。「点字解答」又は「代筆解答」を希望する場合は、準備に相当な期間を要しますので、なるべく早く相談してください。

日常生活において、ごく普通に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、受験上の配慮として申請してください。

また、出願受付締切後の不慮の事故等による負傷者についても、受験上及び修学上の配慮が必要となった場合は、その時点で速やかに申し出て下さい。

なお、申請期限等詳細については学生募集要項に記載します。

1. 申請方法

事前に下記の連絡・申請先まで電話連絡の上、申請書及び必要書類（診断書(写)、大学入学共通テスト受験上の配慮申請時の診断書(写)、大学入学共通テスト受験上の配慮申請時の状況報告書(写)、大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書(写)等）を提出してください。詳細については学生募集要項に記載します。

なお、場合により、志願者又はその立場を代弁し得る出身学校等関係者と修学上の配慮について面談を行います。

2. 連絡・申請先

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

和歌山大学入試課

TEL 073-457-7116

実施方式及び併願について

本学の一般選抜は、分離分割方式による「前期日程」と「後期日程」で実施します。

本学の前期日程に出願する場合は、他の国公立大学・学部等（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部等を除く）の前期日程との併願はできません。

本学の後期日程に出願する場合は、他の国公立大学・学部等（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部等を除く）の後期日程との併願はできません。

本学内の学部（学環を含む）間又は同一学部内における前期日程と後期日程への出願は可能です。その場合は、前期日程と後期日程のそれぞれに出願書類を提出し、入学検定料を納めてください。

※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部等は、

公立大学協会ホームページ（<https://www.kodaikyo.org>）を参照してください。

入学者選抜方法等

入学者選抜方法は、令和8年度大学入学共通テストの成績と本学が実施する個別学力検査等の結果及び調査書を総合して行います。

大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の実施教科・科目等並びにこれらの配点については、各学部等の【入学者選抜実施教科・科目等】を参照してください。

なお、本学では大学入学共通テストの成績請求は「チケット方式」を採用します。出願時にご留意ください。

入学者選抜実施教科・科目等

教科・科目名の表記

本学における大学入学共通テストの利用教科・科目名は次のように一部略記しています。

() 内は正式名称です。

教科名	グループ	科 目 名
国(国語)		国(『国語』)
地歴(地理歴史) (注1)		地総・地探(『地理総合、地理探究』)、 歴総・日探(『歴史総合、日本史探究』)、 歴総・世探(『歴史総合、世界史探究』)、 地総／歴総／公(『地理総合／歴史総合／公共』) → (a) → (b)
公民 (注1)		公・倫(『公共、倫理』)、公・政経(『公共、政治・経済』)、 地総／歴総／公(『地理総合／歴史総合／公共』)(再掲) → (a) → (b)
数(数学)	①	数Ⅰ・数A(『数学Ⅰ、数学A』)、数Ⅰ(『数学Ⅰ』)
	②	数Ⅱ・数B・数C(『数学Ⅱ、数学B、数学C』)
理(理科) (注2)		物基／化基／生基／地基(『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』)、 物(『物理』)、化(『化学』)、生(『生物』)、地(『地学』)
外(外国語)		英(『英語』)、独(『ドイツ語』)、仏(『フランス語』)、 中(『中国語』)、韓(『韓国語』)
情(情報)		情Ⅰ(『情報Ⅰ』)

※『地理総合／歴史総合／公共』及び『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』にある“／”は、一つの
出題科目の中で複数の出題範囲を選択解答することを表しています。これらの出題科目を選択する場合は、
必ず2つの出題範囲を選択してください。

(注1)

- ①地理歴史及び公民で2科目を選択する受験者が、(b)のうちから2科目を選択する場合において、『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せを選択することはできません。
- ②地理歴史及び公民で2科目を選択する受験者が、(b)のうちから1科目及び(a)を選択する場合において、選択可能な組合せは以下のとおりです。
 - ・(b)のうちから『地理総合、地理探究』を選択する場合、(a)では「歴史総合」及び「公共」の組合せ
 - ・(b)のうちから『歴史総合、日本史探究』又は『歴史総合、世界史探究』を選択する場合、(a)では「地理総合」及び「公共」の組合せ
 - ・(b)のうちから『公共、倫理』又は『公共、政治・経済』を選択する場合、(a)では「地理総合」及び「歴史総合」の組合せ

[参考] 地理歴史及び公民において、(b)のうちから1科目及び(a)を選択する場合に選択可能な組合せについて

○：選択可能 ×：選択不可

		(a)		
		「地理総合」「歴史総合」	「地理総合」「公共」	「歴史総合」「公共」
(b)	『地理総合、地理探究』	×	×	○
	『歴史総合、日本史探究』	×	○	×
	『歴史総合、世界史探究』	×	○	×
	『公共、倫理』	○	×	×
	『公共、政治・経済』	○	×	×

(注2) 理科で『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を含む2科目を選択する受験者は、入学者選抜実施教科・科目等の【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄を確認してください。

本学における個別学力検査の教科・科目名は次のように一部略記しています。

() 内は正式名称です。

教科名	科 目 名
国(国語)	現国(現代の国語)、言文(言語文化)
数(数学)	数Ⅰ(数学Ⅰ)、数Ⅱ(数学Ⅱ)、数Ⅲ(数学Ⅲ)、 数A(数学A)、数B(数学B)、数C(数学C)
外(外国語)	英コミュⅠ(英語コミュニケーションⅠ)、 英コミュⅡ(英語コミュニケーションⅡ)、 英コミュⅢ(英語コミュニケーションⅢ)、 論表Ⅰ(論理・表現Ⅰ)、論表Ⅱ(論理・表現Ⅱ)、論表Ⅲ(論理・表現Ⅲ)

教育学部

入学者選抜実施教科・科目等

No. 1

学部・学科等名及び入学定員等		学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個 別 学 力 検 査 等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													特 別 の 入試方法等
			教科 グループ	科 目 名 等	教科 等	科 目 名 等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合 問題	小論文	面接	実技	配点 合計	
教育学部 135人 前 期 70 後 期 20 その他 40	学校教育 教員養成課程	文科系 42人 前 期 32 後 期 10	国 地歴 公民 数 ① ② 理 外 情	国 地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総／歴総／公 } から 2 公・倫、公・政経、(地総／歴総／公(再掲)) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 物基／化基／生基／地基、物、化、生、地 から 1 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から 1 情Ⅰ 【 7 教科 8 科目又は 6 教科 8 科目】	外 国 語 の 他	英コミュⅠ・英コミュⅡ・英コミュⅢ・ 論表Ⅰ・論表Ⅱ・論表Ⅲ 現国・言文 面接	大学入学共通テスト	200	*200 *200	*200	200	100	200	50					1150	学校推薦型 選抜 追加合格
							個別学力検査等	200					200				300		700	
							計	400	*200 *200	*200	200	100	400	50			300		1850	
							大学入学共通テスト	200	*100 *100	*100	200	100	200	50					950	
							個別学力検査等										200		200	
							計	200	*100 *100	*100	200	100	200	50			200		1150	
		理科系 30人 前 期 20 後 期 10	国 地歴 公民 数 ① ② 理 外 情	国 地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総／歴総／公 } から 1 公・倫、公・政経、(地総／歴総／公(再掲)) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 物、化、生、地 から 2 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から 1 情Ⅰ 【 6 教科 8 科目】	外 国 語 の 他	英コミュⅠ・英コミュⅡ・英コミュⅢ・ 論表Ⅰ・論表Ⅱ・論表Ⅲ 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C 面接	大学入学共通テスト	200	*100	*100	200	400	200	50					1150	
							個別学力検査等				300		100				300		700	
							計	200	*100	*100	500	400	300	50			300		1850	
							大学入学共通テスト	200	*100	*100	200	200	200	50					950	
							個別学力検査等										200		200	
							計	200	*100	*100	200	200	200	50			200		1150	
		実技系 「音楽又は美術」 8人 前 期 8人	国 地歴 公民 数 ① ② 理 外 情	国 地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総／歴総／公 } から 1 ※ 公・倫、公・政経、(地総／歴総／公(再掲)) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 物基／化基／生基／地基、物、化、生、地 から 2 ※又は 1 ※ 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から 1 情Ⅰ 【 7 教科 8 科目又は 6 教科 8 科目】	その 他 の 他	実技検査 面接	大学入学共通テスト	200	*100 *100	*100	200	100 *100	300	50					1050	
							個別学力検査等										300	400	700	
							計	200	*100 *100	*100	200	100 *100	300	50			300	400	1750	
		実技系 「保健体育」 10人 前 期 10人	国 地歴 公民 数 ① ② 理 外 情	国 地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総／歴総／公 } から 1 ※ 公・倫、公・政経、(地総／歴総／公(再掲)) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 物基／化基／生基／地基、物、化、生、地 から 2 ※又は 1 ※ 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から 1 情Ⅰ 【 7 教科 8 科目又は 6 教科 8 科目】	その 他 の 他	実技検査 面接	大学入学共通テスト	200	*100 *100	*100	200	100 *100	300	50					1050	
							個別学力検査等										300	400	700	
							計	200	*100 *100	*100	200	100 *100	300	50			300	400	1750	

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

[前期日程・後期日程共通]

1. 「外」の英語において、リーディングとリスニングを課します(リスニングが免除となった場合を除き、リーディング及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります)。

[学校教育教員養成課程(文科系)(前期日程・後期日程)]

1. 「理」において、2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

[学校教育教員養成課程(理科系)(前期日程・後期日程)]

1. 「地歴」、「公民」において、2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

[学校教育教員養成課程(実技系)(前期日程)]

1. ※を付している「地歴」、「公民」及び「理」において、以下のa、bのうち、いずれかの組合せとします。

a. 「地歴」、「公民」から2科目と「理」から1科目の組合せ

b. 「地歴」、「公民」から1科目と「理」から2科目の組合せ

2. 「地歴」、「公民」から2科目かつ「理」から2科目受験した場合は、以下のa、bのうち、いずれか高得点の組合せを採用します。

a. 「地歴」、「公民」の2科目と「理」の第1解答科目の組合せ

b. 「地歴」、「公民」の第1解答科目と「理」の2科目の組合せ

3. 「理」から2科目を選択する場合で、「物基／化基／生基／地基」を選択した場合は、当該出題科目において選択した2つの出題範囲の内容と同一名称を付した科目の選択は認めないこととします。

【個別学力検査等】欄

1. 英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲは、リスニングを出題範囲から除きます。

2. 現代の国語は、近代以降の文章を、言語文化は、近代以降の文章、古典(漢文を除く)を出題範囲とします。

3. 数学Ⅰ、数学Ⅱは、全範囲を出題範囲とします。数学Aは、図形の性質、場合の数と確率を、数学Bは、数列を、数学Cは、ベクトルを出題範囲とします。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

1. 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表します。

2. 大学入学共通テスト 外国語「英語」において、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点(200点満点)を英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。

ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、リーディング(100点満点)の得点を2倍(200点満点)にしたものを英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。

学部・学科等名及び入学定員等		学力検査等の区分・日程		大学入学共通テストの利用教科・科目名		個 別 学 力 検 査 等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												特 別 の 入試方法等	
				教科 グループ	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合 問題	小論文	面接	実技		配点 合計
経済学部 前期 290人 後期 170人 その他 80人 40人	経済学科	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 ① ② 理 外 情	国 地総・地探、歴総・日探、歴総・世探 から1又は2 } から1 公・倫、公・政経 から1又は0 数Ⅰ・数A、数Ⅰ から1 数Ⅱ・数B・数C 物基／化基／生基／地基、物、化、生、地 から1 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から1 情Ⅰ 【7教科8科目又は6教科8科目】	外 数	英コミュⅠ・英コミュⅡ・英コミュⅢ・ 論表Ⅰ・論表Ⅱ・論表Ⅲ 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C	大学入学共通 テスト	200	100 *100	*100	200	100	200	50					950	学校推薦型 選抜	
							個別学力検査 等					400		500						900	(スポーツ) 学校推薦型 選抜(簿記) 帰国生徒選抜
							計	200	100 *100	*100	600	100	700	50						1850	社会人選抜 私費外国人 留学生選抜
		後期 3月12日	国 地歴 公民 数 ① ② 理 外 情	国 地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、 地総／歴総／公 から1又は2 公・倫、公・政経、(地総／歴総／公(再掲)) から1 数Ⅰ・数A、数Ⅰ から1 数Ⅱ・数B・数C 物基／化基／生基／地基、物、化、生、地 から1 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から1 情Ⅰ 【3教科3科目又は2教科3科目】	そ 他	小論文	大学入学共通 テスト	*100	*100 *100	*100	*100 *100	*100	400	*100					600	追加合格	
							個別学力検査 等											1200		1200	
							計	*100	*100 *100	*100	*100 *100	*100	400	*100				1200			1800

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

〔前期日程・後期日程共通〕

「外」の英語において、リーディングとリスニングを課します(リスニングが免除となった場合を除き、リーディング及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります)。

〔前期日程〕

「理」において、2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

〔後期日程〕

指定教科数・科目数を超過受験している場合、次の①と②で示す教科・科目からなる3科目を採用します。

- ①「外」(必須)
- ② 次のa、b、cにそれぞれ示した2科目の組み合わせのうち、最も高得点になるもの
- a. 「地歴」2科目
- b. 「地歴」1科目と「公民」1科目の2科目
- c. 以下の教科・科目のいずれか2科目
- ・「国」
 - ・「地歴」、「公民」の第1解答科目
 - ・「数①」
 - ・「数②」
 - ・「理」の第1解答科目
 - ・「情」

【個別学力検査等】欄

〔前期日程〕

1. 英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲは、リスニングを出題範囲から除きます。
2. 数学Ⅰ、数学Ⅱは、全範囲を出題範囲とします。数学Aは、図形の性質、場合の数と確率を、数学Bは、数列を、数学Cは、ベクトルを出題範囲とします。

〔後期日程〕

1. 小論文は、与えられた文章を理解し、関連する資料(図・数表・英文資料等を含む)に基づいて、論理的に考え、判断し、論述する力を問う問題により、社会科学を学ぶ上で必要な知識、並びにそれを活用する能力を備えているかどうかを問います。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

1. 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表します。
2. 大学入学共通テスト 外国語「英語」において、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点(200点満点)を英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。
ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、リーディング(100点満点)の得点を2倍(200点満点)にしたものを英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。

学部・学科等名及び入学定員等		学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個 別 学 力 検 査 等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											特 別 の 入試方法等		
			教科 グループ	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題	小論文	面接		実技	配点合計
システム工学部 320人 前期 170 後期 110 その他 40	システム工学科	前期 2月25日	国 地歴 公民 数	国 地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総／歴総／公 } から 1 公・倫、公・政経、(地総／歴総／公 (再掲)) 数Ⅰ・数A、数Ⅰ から 1 数Ⅱ・数B・数C 物、化、生、地 から 2 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から 1 情Ⅰ 【6教科8科目】	外 数	英コミュⅠ・英コミュⅡ・英コミュⅢ・論表Ⅰ・論表Ⅱ・論表Ⅲ 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C	大学入学共通テスト	200	(※10) (※90)	(※10) (※90)	200	400	200	(90) (10)					1100	学校推薦型選抜 学校推薦型選抜 (女子枠) 私費外国人留学生選抜 追加合格
			① ② 理 外 情				個別学力検査等				200		200						400	
							計	200	(※10) (※90)	(※10) (※90)	400	400	400	(90) (10)					1500	
		後期 3月12日	国 地歴 公民 数	国 地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総／歴総／公 } から 1 公・倫、公・政経、(地総／歴総／公 (再掲)) 数Ⅰ・数A、数Ⅰ から 1 数Ⅱ・数B・数C 物、化、生、地 から 2 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から 1 情Ⅰ 【6教科8科目】	その他	総合問題	大学入学共通テスト	200	(※10) (※90)	(※10) (※90)	300	300	200	(90) (10)					1100	
			① ② 理 外 情				個別学力検査等								400				400	
							計	200	(※10) (※90)	(※10) (※90)	300	300	200	(90) (10)	400					

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

[前期日程・後期日程共通]

- 「外」の英語において、リーディングとリスニングを課します(リスニングが免除となった場合を除き、リーディング及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります)。
- 「地歴」、「公民」において、2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

【個別学力検査】欄

[前期日程]

- 英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲは、リスニングを出題範囲から除きます。
- 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲは、全範囲を出題範囲とします。数学Aは、図形の性質、場合の数と確率を、数学Bは、数列を、数学Cは、ベクトル、平面上の曲線と複素数平面を出題範囲とします。

[後期日程]

- 総合問題は、システム工学を学ぶにふさわしい能力・適性等を問います。「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」、「物理基礎、物理」、「化学基礎、化学」で学ぶ内容の理解を前提として、これら3分野のうち2分野の問題を選択とします。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

- 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表します。
- 「地歴」、「公民」(100点満点)および「情報」(100点満点)において、いずれか高得点の教科の得点を0.9倍(90点満点)、もう一方の教科を0.1倍(10点満点)に換算します。
- 大学入学共通テスト 外国語「英語」において、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点(200点満点)を英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。
ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、リーディング(100点満点)の得点を2倍(200点満点)にしたものを英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。

学部・学科等名及び入学定員等		学力検査等の区分・日程		大学入学共通テストの利用教科・科目名		個 別 学 力 検 査 等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												特 別 の 入試方法等		
		教科 グループ		科 目 名 等		教科等	科 目 名 等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題	小論文	面接	実技		配点合計	
観光学部 115人 前期 60 後期 5 その他 50	観光学科	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 ① ② 理 外 情	国 地総・地探、歴総・日探、歴総・世探 } から 1 公・倫、公・政経 数Ⅰ・数A、数Ⅰ から 1 数Ⅱ・数B・数C 物基／化基／生基／地基、物、化、生、地 から 1 英(リスニングを含む) 情Ⅰ 【6教科7科目】	外 国 又は 数	英コミュⅠ・英コミュⅡ・英コミュⅢ・ 論表Ⅰ・論表Ⅱ・論表Ⅲ 現国・言文 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C	大学入学共通 テスト	200	*100	*100	200	100	200	100							900	学校推薦型 選抜 社会人選抜 総合型選抜 私費外国人 留学生選抜 追加合格
							個別学力検査 等	*200													400	
							計	200 *200	*100	*100	200 *200	100	400	100						1300		
		後期 3月12日	国 地歴 公民 数 ① ② 理 外 情	国 地総・地探、歴総・日探、歴総・世探 } から 1 公・倫、公・政経 数Ⅰ・数A、数Ⅰ から 1 数Ⅱ・数B・数C 物基／化基／生基／地基、物、化、生、地 から 1 英(リスニングを含む) 情Ⅰ 【6教科7科目】		個別学力検査等は課さない	大学入学共通 テスト	200	*100	*100	200	100	200	100							900	
							個別学力検査 等															
							計	200	*100	*100	200	100	200	100						900		

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

[前期日程・後期日程共通]

1. 「外」の英語において、リーディングとリスニングを課します(リスニングが免除となった場合を除き、リーディング及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります)。
2. 「地歴」、「公民」において、2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
3. 「理」において、2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

【個別学力検査等】欄

[前期日程]

1. 英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲは、リスニングを出題範囲から除きます。
2. 現代の国語は、近代以降の文章を、言語文化は、近代以降の文章、古典(漢文を除く)を出題範囲とします。
3. 数学Ⅰ、数学Ⅱは、全範囲を出題範囲とします。数学Aは、図形の性質、場合の数と確率を、数学Bは、数列を、数学Cは、ベクトルを出題範囲とします。
4. 「国語」又は「数学」については、出願時に選択していただきます。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

1. 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表します。
2. 大学入学共通テスト 外国語「英語」において、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点(200点満点)を英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。
ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、リーディング(100点満点)の得点を2倍(200点満点)にしたものを英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。

学部・学科等名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個 別 学 力 検 査 等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													特 別 の 入試方法等
		教科 <i>グループ</i>	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題	小論文	面接	実技	配点合計	
社会インフォマティクス学環 前 期 30人 後 期 20 其 他 0 其 他 10	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 ① ② 理 外 情	国 地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総／歴総／公 } から1又は2※ 公・倫、公・政経、(地総／歴総／公(再掲)) 数Ⅰ・数A、数Ⅰ から1 数Ⅱ・数B・数C 物基／化基／生基／地基、物、化、生、地 から2又は1※ 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から1 情Ⅰ 【7教科8科目又は6教科8科目】	外 数	英コミュⅠ・英コミュⅡ・ 英コミュⅢ・論表Ⅰ・論表Ⅱ・ 論表Ⅲ 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C	大学入学共通 テスト	200	*100 *100	*100	200	100 *100	200	100						1000
						個別学力検査 等				(200) (400)	(400) (200)							600	
						計	200	*100 *100	*100	(400) (600)	100 *100	(600) (400)	100					1600	
	後期 3月12日					大学入学共通 テスト													
						個別学力検査 等													
						計													

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

1. 「外」の英語において、リーディングとリスニングを課します(リスニングが免除となった場合を除き、リーディング及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります)。
2. ※を付している「地歴」、「公民」及び「理」において、以下のa、bのうち、いずれかの組合せとします。
 - a. 「地歴」、「公民」から2科目と「理」から1科目の組合せ
 - b. 「地歴」、「公民」から1科目と「理」から2科目の組合せ
3. 「地歴」、「公民」から2科目かつ「理」から2科目受験した場合は、以下のa、bのうち、いずれか高得点の組合せを採用します。
 - a. 「地歴」、「公民」の2科目と「理」の第1解答科目の組合せ
 - b. 「地歴」、「公民」の第1解答科目と「理」の2科目の組合せ
4. 「理」から2科目を選択する場合で、「物基／化基／生基／地基」を選択した場合は、当該出題科目において選択した2つの出題範囲の内容と同一名称を付した科目の選択は認めないこととします。

【個別学力検査等】欄

1. 英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲは、リスニングを出題範囲から除きます。
2. 数学Ⅰ、数学Ⅱは、全範囲を出題範囲とします。数学Aは、図形の性質、場合の数と確率を、数学Bは、数列を、数学Cは、ベクトルを出題範囲とします。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

1. 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表します。
2. 大学入学共通テスト 外国語「英語」において、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点(200点満点)を英語の得点とし、本学環が定めている配点に換算します。
ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、リーディング(100点満点)の得点を2倍(200点満点)にしたものを英語の得点とし、本学環が定めている配点に換算します。
3. 個別学力検査「数学」(200点満点)、「外国語」(200点満点)において、いずれか高得点の教科の得点を2倍(400点満点)し、配点合計が600点満点となるように換算します。

課程・系		学校教育教員養成課程実技系		
実施日程		前期日程		
専攻	区 分	選択種目	検 査 内 容	注意事項
音 楽	実技Ⅰ群	A. 声楽	○次の曲を原語・暗譜で演奏してください。 ○調性は任意で良いが、演奏する調性の伴奏用の 楽譜のコピー を他の出願書類とともに１部提出してください。(伴奏は大学側が用意します。) A. スカルラッチェ作曲「Sento nel core」(私は心に感じる) 高中声用は全音楽譜出版社刊『イタリア歌曲集１』、低声用はカワイ出版刊『古典イタリア歌曲集３（低声用）』を使用してください。	選択種目の組合せ 選択種目の組合せは以下の３とおりとします。 いずれかひとつの組合せを選択してください。 Ａと２、Ｂと１、Ｃと２ ※選択種目は、入学後の専門領域を意味するものではありません。
		B. ピアノ	○次の曲を暗譜で演奏してください。 (くり返しは省略します。) L. van ベートーヴェン作曲「ピアノソナタ No.5 Op.10-1 第１楽章」	
		C. 管・打楽器	○任意の１曲を無伴奏で演奏してください。 ○暗譜の必要はありません。(演奏時間が長い場合は、途中でカットすることがあります。) ○演奏する楽曲の 楽譜のコピー を他の出願書類とともに１部提出してください。 ○楽器及び演奏に必要なものは各自持参してください。但し、マリンバの場合、大学で用意する楽器(こおろぎLV2400CF〈５・½オクターヴ、66鍵、C16～F81〉)で演奏してください。 【受験可能楽器】 フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、マリンバ、スネア・ドラムからひとつを選択	
	実技Ⅱ群	1. 声楽	○次の曲を暗譜の上、母音の a で演奏してください。 ○調性は任意で良いが、演奏する調性の伴奏用の 楽譜のコピー を他の出願書類とともに１部提出してください。(伴奏は大学側が用意します。) 『コンコーネ50番』より11番 全音楽譜出版社刊『コンコーネ50番』を使用してください。	
		2. ピアノ	○次の曲を暗譜で演奏してください。(くり返しは省略します。) W. A. モーツァルト作曲「ピアノソナタ No.16 KV545 第１楽章」	

美術	共通 〔全員が受験してください。〕	造形表現 与えられた主題を配付された素材で立体的に表現し、鉛筆を用いて素描してください。 (試験時間：180分)	持参物 素描用黒鉛筆、練り消しゴム、プラスチック消しゴム、カッターナイフ、30cmの直定規、三角定規(一組)、コンパス ※その他の道具等はすべて大学で用意します。
保健体育	共通 〔全員が受験してください。〕	1. 立ち幅とび 2. 反復横とび 3. マット運動 4. 持久走 (12分間走又は20mシャトルラン) 5. 50m走 6. 50mハードル走 7. メディシンボール投げ (後方投げ、男子 4 kg 女子 3 kg)	○屋外用シューズと体育館シューズを用意してください。 ○屋外用シューズとしてスパイクシューズは使用できません。

個別学力検査等実施教科・科目の試験時間

●前期日程

学 部 等	国 語	数 学	外国語	面 接	実 技 検 査
教 育 学 部	90分	90分	90分	適 宜	およそ学力検査2教科分の 所要時間に準ずる。
経 済 学 部		90分	90分		
システム工学部		90分	90分		
観 光 学 部	90分	90分	90分		
社会インフォマティクス学環		90分	90分		

●後期日程

教 育 学 部	面 接
	適宜
経 済 学 部	小 論 文
	90分
シ ス テ ム 工 学 部	総 合 問 題
	120分
観 光 学 部	個別学力検査等は課さない
	――
社会インフォマティクス学環	

特別選抜

学校推薦型選抜

No.1

実施学部・学科等名	教育学部 学校教育教員養成課程 学校教育コース																																																							
募 集 人 員	20名																																																							
出 願 資 格	次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者 【基礎資格】 次の各号のいずれかに該当する者 (1)高等学校若しくは中等教育学校を令和8年3月までに卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を令和8年3月までに修了見込みの者 【要件】 次のすべてに該当する者 (1)本学部が指定する令和8年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者 (2)出身学校長が責任をもって推薦できる者（1校当たり2名までとする） (3)「学校教育」に関心を持ち、学校教員（義務教育段階）を強く志望する者 (4)受験及び合格した場合の入学を確約する者																																																							
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストの成績、面接の結果及び出願書類（推薦書、志望理由書、調査書）により総合して行います。 <table><tr><th colspan="4">大学入学共通テストの利用教科・科目名</th><th colspan="2">個別学力検査等</th><th></th></tr><tr><th>教科グループ</th><th>科 目 名 等</th><th>配点</th><th>教科等</th><th>科目名等</th><th>配点</th><th>配点合計</th></tr><tr><td>国</td><td>国</td><td>200</td><td rowspan="8">その他</td><td rowspan="8">面接</td><td rowspan="8">800</td><td rowspan="8">1650</td></tr><tr><td>地歴</td><td>地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総／歴総／公 } から1</td><td>100</td></tr><tr><td>公民</td><td>公・倫、公・政経、(地総／歴総／公(再掲))</td><td>100</td></tr><tr><td>数 ①</td><td>数Ⅰ・数A</td><td>100</td></tr><tr><td>②</td><td>数Ⅱ・数B・数C</td><td>100</td></tr><tr><td>理</td><td>物基／化基／生基／地基、物、化、生、地 から1</td><td>100</td></tr><tr><td>外</td><td>英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から1</td><td>200</td></tr><tr><td>情</td><td>情Ⅰ</td><td>50</td></tr><tr><td colspan="2">【6教科7科目】</td><td>850</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄 1. 「外」の英語において、リーディングとリスニングを課します(リスニングが免除となった場合を除き、リーディング及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります)。 2. 「地歴」、「公民」において、2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。 3. 「理」において、2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。 4. 「外」の英語において、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点(200点満点)を英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。 ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、リーディング(100点満点)の得点を2倍(200点満点)にしたものを英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。							大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等			教科グループ	科 目 名 等	配点	教科等	科目名等	配点	配点合計	国	国	200	その他	面接	800	1650	地歴	地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総／歴総／公 } から1	100	公民	公・倫、公・政経、(地総／歴総／公(再掲))	100	数 ①	数Ⅰ・数A	100	②	数Ⅱ・数B・数C	100	理	物基／化基／生基／地基、物、化、生、地 から1	100	外	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から1	200	情	情Ⅰ	50	【6教科7科目】		850				
大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等																																																				
教科グループ	科 目 名 等	配点	教科等	科目名等	配点	配点合計																																																		
国	国	200	その他	面接	800	1650																																																		
地歴	地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総／歴総／公 } から1	100																																																						
公民	公・倫、公・政経、(地総／歴総／公(再掲))	100																																																						
数 ①	数Ⅰ・数A	100																																																						
②	数Ⅱ・数B・数C	100																																																						
理	物基／化基／生基／地基、物、化、生、地 から1	100																																																						
外	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から1	200																																																						
情	情Ⅰ	50																																																						
【6教科7科目】		850																																																						
出 願 期 間	令和7年12月16日(火)～12月18日(木)																																																							
選 抜 期 日	令和8年1月31日(土)																																																							
合 格 者 発 表 日	令和8年2月10日(火)																																																							
そ の 他	(注)本学では大学入学共通テストの成績請求は「チケット方式」を採用します。出願時にご留意ください。																																																							

学校推薦型選抜

No.2

実施学部・学科等名	教育学部 学校教育教員養成課程 支援教育コース																																																															
募 集 人 員	5 名																																																															
出 願 資 格	次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者 【基礎資格】 次の各号のいずれかに該当する者 (1)高等学校若しくは中等教育学校を令和 8 年 3 月までに卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を令和 8 年 3 月までに修了見込みの者 【要件】 次のすべてに該当する者 (1)本学部が指定する令和 8 年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者 (2)出身学校長が責任をもって推薦できる者（1 校当たり 1 名とする） (3)「特別支援教育」に関心を持ち、特別支援学校教員を志望する者 (4)受験及び合格した場合の入学を確約する者																																																															
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストの成績、面接の結果及び出願書類（推薦書、志望理由書、調査書）により総合して行います。 <table><tr><th colspan="4">大学入学共通テストの利用教科・科目名</th><th colspan="2">個別学力検査等</th><th></th></tr><tr><th>教科グループ</th><th>科 目 名 等</th><th>配点</th><th>教科等</th><th>科目名等</th><th>配点</th><th>配点合計</th></tr><tr><td>国</td><td>国</td><td>200</td><td rowspan="6">その他</td><td rowspan="6">面接</td><td rowspan="6">800</td><td rowspan="6">1650</td></tr><tr><td>地歴</td><td>地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総／歴総／公 } から 1</td><td>100</td></tr><tr><td>公民</td><td>公・倫、公・政経、(地総／歴総／公(再掲))</td><td>100</td></tr><tr><td>数 ①</td><td>数Ⅰ・数A</td><td>100</td></tr><tr><td>②</td><td>数Ⅱ・数B・数C</td><td>100</td></tr><tr><td>理</td><td>物基／化基／生基／地基、物、化、生、地 から 1</td><td>100</td></tr><tr><td>外</td><td>英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から 1</td><td>200</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>情</td><td>情Ⅰ</td><td>50</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>【6教科7科目】</td><td>850</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄 1. 「外」の英語において、リーディングとリスニングを課します(リスニングが免除となった場合を除き、リーディング及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります)。 2. 「地歴」、「公民」において、2 科目を受験した場合は、第 1 解答科目の得点を採用します。 3. 「理」において、2 科目を受験した場合は、第 1 解答科目の得点を採用します。 4. 「外」の英語において、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点(200点満点)を英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。 ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、リーディング(100点満点)の得点を 2 倍(200点満点)にしたものを英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。							大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等			教科グループ	科 目 名 等	配点	教科等	科目名等	配点	配点合計	国	国	200	その他	面接	800	1650	地歴	地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総／歴総／公 } から 1	100	公民	公・倫、公・政経、(地総／歴総／公(再掲))	100	数 ①	数Ⅰ・数A	100	②	数Ⅱ・数B・数C	100	理	物基／化基／生基／地基、物、化、生、地 から 1	100	外	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から 1	200					情	情Ⅰ	50							【6教科7科目】	850			
大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等																																																												
教科グループ	科 目 名 等	配点	教科等	科目名等	配点	配点合計																																																										
国	国	200	その他	面接	800	1650																																																										
地歴	地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総／歴総／公 } から 1	100																																																														
公民	公・倫、公・政経、(地総／歴総／公(再掲))	100																																																														
数 ①	数Ⅰ・数A	100																																																														
②	数Ⅱ・数B・数C	100																																																														
理	物基／化基／生基／地基、物、化、生、地 から 1	100																																																														
外	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から 1	200																																																														
情	情Ⅰ	50																																																														
		【6教科7科目】	850																																																													
出 願 期 間	令和 7 年12月16日(火)～12月18日(木)																																																															
選 抜 期 日	令和 8 年 1 月31日(土)																																																															
合 格 者 発 表 日	令和 8 年 2 月10日(火)																																																															
そ の 他	(注) 本学では大学入学共通テストの成績請求は「チケット方式」を採用します。出願時にご留意ください。																																																															

学校推薦型選抜(きのくに教員希望枠)

No.3

実施学部・学科等名	教育学部 学校教育教員養成課程						
募 集 人 員	10名						
出 願 資 格	次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者 【基礎資格】 次の各号のいずれかに該当する者 (1)高等学校若しくは中等教育学校を令和８年３月までに卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を令和８年３月までに修了見込みの者 【要件】 次のすべてに該当する者 (1)和歌山県内の以下の地域に所在する出身学校長が責任をもって推薦できる者 和歌山市、海南市、橋本市、有田市、紀の川市、岩出市、海草郡、伊都郡、有田郡 (2)調査書における全体の学習成績の状況が4.0以上の者（出願前の学期までの成績による） (3)学校教育に関心を持ち、和歌山県内の小規模校※で小学校教員を強く志望する者 (4)受験及び合格した場合の入学を確約する者 ※小学校の場合、いずれかの学年で単学級が生じる全学年で11学級以下の学校を指す。						
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを免除し、小論文、面接の結果及び出願書類（推薦書、志望理由書及び調査書）により総合して行います。 ・配点 <table><tr><td>小論文</td><td>面接・推薦書・志望理由書・調査書</td><td>合 計</td></tr><tr><td>100</td><td>100</td><td>200</td></tr></table>	小論文	面接・推薦書・志望理由書・調査書	合 計	100	100	200
小論文	面接・推薦書・志望理由書・調査書	合 計					
100	100	200					
出 願 期 間	令和７年11月４日(火)～11月６日(木)						
選 抜 期 日	令和７年11月22日(土)						
合 格 者 発 表 日	令和７年12月１日(月)						
そ の 他	(注)学校推薦型選抜(きのくに教員希望枠)については、各校２名を上限とします。						

学校推薦型選抜(地域【紀南】推薦枠)

No.4

実施学部・学科等名	教育学部 学校教育教員養成課程						
募 集 人 員	10名						
出 願 資 格	次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者 【基礎資格】 次の各号のいずれかに該当する者 (1)高等学校若しくは中等教育学校を令和8年3月までに卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を令和8年3月までに修了見込みの者 【要件】 次のすべてに該当する者 (1)和歌山県内の以下の地域に所在する出身学校長が責任をもって推薦できる者 御坊市、田辺市、新宮市、日高郡、西牟婁郡、東牟婁郡 (2)調査書における全体の学習成績の状況が4.0以上の者（出願前の学期までの成績による） (3)学校教育に関心を持ち、和歌山県紀南地域の学校教員（義務教育段階）を強く志望する者 (4)受験及び合格した場合の入学を確約する者						
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを免除し、小論文、面接の結果及び出願書類（推薦書、志望理由書及び調査書）により総合して行います。 ・配点 <table><tr><td>小論文</td><td>面接・推薦書・志望理由書・調査書</td><td>合 計</td></tr><tr><td>100</td><td>100</td><td>200</td></tr></table>	小論文	面接・推薦書・志望理由書・調査書	合 計	100	100	200
小論文	面接・推薦書・志望理由書・調査書	合 計					
100	100	200					
出 願 期 間	令和7年11月4日(火)～11月6日(木)						
選 抜 期 日	令和7年11月22日(土)						
合 格 者 発 表 日	令和7年12月1日(月)						
そ の 他	(注) 学校推薦型選抜(地域【紀南】推薦枠)については、各校3名を上限とします。						

学校推薦型選抜

No.5

実施学部・学科等名	経済学部 経済学科						
募 集 人 員	30名						
出 願 資 格	次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者 【基礎資格】 次の各号のいずれかに該当する者 (1)高等学校若しくは中等教育学校を令和8年3月までに卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を令和8年3月までに修了見込みの者 【要件】 次のすべてに該当する者 (1)出身学校長が責任をもって推薦できる者（1校当たり3名までとする） (2)合格した場合は入学を確約する者						
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを免除します。 小論文、面接（与えられたテーマに関する集団討論）の成績、及び出願書類を総合して評価します。 ・配点 <table><tr><td>小論文</td><td>面接・出願書類</td><td>合 計</td></tr><tr><td>100</td><td>125</td><td>225</td></tr></table>	小論文	面接・出願書類	合 計	100	125	225
小論文	面接・出願書類	合 計					
100	125	225					
出 願 期 間	令和7年11月4日(火)～11月7日(金)						
選 抜 期 日	令和7年12月6日(土)～12月7日(日)、予備日：12月13日(土)～12月14日(日)						
合 格 者 発 表 日	令和7年12月19日(金)						
そ の 他							

学校推薦型選抜(スポーツ)

No.6

実施学部・学科等名	経済学部 経済学科						
募 集 人 員	4 名						
出 願 資 格	次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者 【基礎資格】 次の各号のいずれかに該当する者 (1)高等学校若しくは中等教育学校を令和 8 年 3 月までに卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を令和 8 年 3 月までに修了見込みの者 【要件】 次のすべてに該当する者 (1)出身学校長が責任をもって推薦できる者（1 校当たり 1 名とする） (2)学業とスポーツを 3 年間両立させてきたことによる出身学校長からの推薦であること (3)調査書における全体の学習成績の状況が3.5以上の者（出願時直前の学期までの成績による） (4)高等学校の運動部の顧問あるいは所属する団体の監督・責任者から推薦される者(優れた人間性と、全国大会水準のスポーツ技能を有することによる推薦であること) (5)合格した場合は入学を確約する者 (6)入学後は、本学体育会所属団体あるいはその他の団体でスポーツ活動を継続する意志を有する者						
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを免除します。 小論文、面接の成績、及び出願書類を総合して評価します。 ・配点 <table><tr><td>小論文</td><td>面接・出願書類</td><td>合 計</td></tr><tr><td>100</td><td>200</td><td>300</td></tr></table>	小論文	面接・出願書類	合 計	100	200	300
小論文	面接・出願書類	合 計					
100	200	300					
出 願 期 間	令和 7 年11月 4 日(火)～11月 7 日(金)						
選 抜 期 日	令和 7 年12月 6 日(土)～12月 7 日(日)、予備日：12月13日(土)～12月14日(日)						
合 格 者 発 表 日	令和 7 年12月19日(金)						
そ の 他							

学校推薦型選抜(簿記)

No.7

実施学部・学科等名	経済学部 経済学科								
募 集 人 員	6 名								
出 願 資 格	次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者 【基礎資格】 次の各号のいずれかに該当する者 (1)高等学校若しくは中等教育学校を令和 8 年 3 月までに卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を令和 8 年 3 月までに修了見込みの者 【要件】 次のすべてに該当する者 (1)出身学校長が責任をもって推薦できる者（1 校当たり 3 名までとする） (2)日本商工会議所簿記検定 2 級以上又は公益財団法人全国商業高等学校協会簿記実務検定 1 級に合格した者 (3)合格した場合は入学を確約する者								
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを免除します。 小論文、面接の成績、及び出願書類を総合して評価します。 ・ 配点 <table><tr><td>小論文</td><td>面接・出願書類</td><td>合 計</td></tr><tr><td>100</td><td>125</td><td>225</td></tr></table>			小論文	面接・出願書類	合 計	100	125	225
小論文	面接・出願書類	合 計							
100	125	225							
出 願 期 間	令和 7 年11月 4 日(火)～11月 7 日(金)								
選 抜 期 日	令和 7 年12月 6 日(土)～12月 7 日(日)、予備日：12月13日(土)～12月14日(日)								
合 格 者 発 表 日	令和 7 年12月19日(金)								
そ の 他									

学校推薦型選抜

No.8

実施学部・学科等名	システム工学部 システム工学科																																
募 集 人 員	30名																																
出 願 資 格	次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者 【基礎資格】 次の各号のいずれかに該当する者 (1)高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月までに卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者 【要件】 次のすべてに該当する者 (1)本学部が指定する令和8年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者 (2)出身学校長が責任をもって推薦できる者 (3)学業成績が優秀で本学部での学習に強い意欲をもつ者 (4)合格した場合は入学を確約する者																																
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストの成績、面接の結果及び出願書類により総合して行います。 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">大学入学共通テストの利用教科・科目名</th><th colspan="3">個別学力検査等</th><th rowspan="2">配点 合計</th></tr> <tr> <th>教科 グループ</th><th>科 目 名 等</th><th>配点</th><th>教科等</th><th>科目名等</th><th>配点</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国 地歴 公民 数 ① ② 理 外 情</td><td> 国 地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、 地総／歴総／公 公・倫、公・政経、(地総／歴総／公(再掲)) 数Ⅰ・数A、数Ⅰ から1 数Ⅱ・数B・数C 物、化、生、地 から2 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から1 情Ⅰ </td><td> 200 (90) (10) 150 150 150×2 300 (10) (90) </td><td>その他</td><td>面接</td><td>600</td><td>1800</td></tr> <tr> <td colspan="2"></td><td>【6教科8科目】</td><td></td><td></td><td></td><td>1200</td></tr> </tbody> </table> 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄 「外」の英語において、リーディングとリスニングを課します(リスニングが免除となった場合を除き、リーディング及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります)。 「地歴」、「公民」において、2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。 「地歴」、「公民」(100点満点)および「情報」(100点満点)において、いずれか高得点の教科の得点を0.9倍(90点満点)、もう一方の教科を0.1倍(10点満点)に換算します。 「外」の英語において、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点(200点満点)を英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。 ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、リーディング(100点満点)の得点を2倍(200点満点)にしたものを英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。						大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			配点 合計	教科 グループ	科 目 名 等	配点	教科等	科目名等	配点	国 地歴 公民 数 ① ② 理 外 情	国 地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、 地総／歴総／公 公・倫、公・政経、(地総／歴総／公(再掲)) 数Ⅰ・数A、数Ⅰ から1 数Ⅱ・数B・数C 物、化、生、地 から2 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から1 情Ⅰ	200 (90) (10) 150 150 150×2 300 (10) (90)	その他	面接	600	1800			【6教科8科目】				1200
大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			配点 合計																											
教科 グループ	科 目 名 等	配点	教科等	科目名等	配点																												
国 地歴 公民 数 ① ② 理 外 情	国 地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、 地総／歴総／公 公・倫、公・政経、(地総／歴総／公(再掲)) 数Ⅰ・数A、数Ⅰ から1 数Ⅱ・数B・数C 物、化、生、地 から2 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から1 情Ⅰ	200 (90) (10) 150 150 150×2 300 (10) (90)	その他	面接	600	1800																											
		【6教科8科目】				1200																											
出 願 期 間	令和7年12月12日(金)～12月18日(木)																																
選 抜 期 日	令和8年1月31日(土)、予備日：2月1日(日)																																
合 格 者 発 表 日	令和8年2月10日(火)																																
そ の 他	(注)本学では大学入学共通テストの成績請求は「チケット方式」を採用します。出願時にご留意ください。																																

学校推薦型選抜(女子枠)

No.9

実施学部・学科等名	システム工学部 システム工学科		
募 集 人 員	10名		
出 願 資 格	次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす女子 【基礎資格】 次の各号のいずれかに該当する女子 (1)高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月までに卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者 【要件】 次のすべてに該当する女子 (1)出身学校長が責任をもって推薦できる者 (2)調査書における数学(数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B)及び理科(物理、又は化学)のそれぞれの評定平均値が3.5以上である者 ただし、数Ⅲ及び数Cについては、履修又は履修見込みであること ※旧教育課程履修者(高等学校(中等教育学校の後期課程並びに特別支援学校の高等部を含む。)に令和4年4月以降に入学し、令和7年3月に卒業又は令和8年3月に卒業見込みの者以外の者)は、数学Cの履修を要件としない。 (3)「総合的な探究の時間」又はそれに相当する学習において得られた実績や経験を本学部での学びにつなげる強い意欲を持った者 (4)合格した場合は入学を確約する者		
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを免除します。 面接（口頭試問を含む）の成績及び出願書類を総合して評価します。 ・配点 <table><tr><td>面接・出願書類</td></tr><tr><td>600</td></tr></table>	面接・出願書類	600
面接・出願書類			
600			
出 願 期 間	令和7年11月4日(火)～11月7日(金)		
選 抜 期 日	令和7年11月29日(土)、予備日：12月1日(月)		
合 格 者 発 表 日	令和7年12月5日(金)		
そ の 他			

学校推薦型選抜

No.10

実施学部・学科等名	観光学部 観光学科																							
募 集 人 員	30名																							
出 願 資 格	次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者 【基礎資格】 次の各号のいずれかに該当する者 (1)高等学校若しくは中等教育学校を令和8年3月までに卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を令和8年3月までに修了見込みの者 【要件】 次のすべてに該当する者 (1)本学部が指定する令和8年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者 (2)出身学校長が責任をもって推薦できる者（1校当たり3名までとする） (3)調査書における全体の学習成績の状況が3.5以上の者(出願時直前の学期までの成績による) (4)合格した場合は入学を確約する者																							
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストの成績、面接（高等学校時代の優れた実績や体験などの自己アピールを含みます。）の結果及び出願書類（推薦書、自己推薦書、調査書）により総合して行います。出願時に英語による自己推薦書を作成した者は、英語による面接となります。 <table><tr><th colspan="3">大学入学共通テストの利用教科・科目名</th><th colspan="3">個別学力検査等</th><th rowspan="2">配点 合計</th></tr><tr><th>教科 グループ</th><th>科 目 名 等</th><th>配点</th><th>教科 等</th><th>科目名 等</th><th>配点</th></tr><tr><td>国 地歴 公民 数 ① ② 理 外 情</td><td>国 地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総／歴総／公 公・倫、公・政経、(地総／歴総／公(再掲)) 数Ⅰ・数A、数Ⅰ 数Ⅱ・数B・数C 物基／化基／生基／地基、物、化、生、地 英(リスニングを含む) 情Ⅰ</td><td>＊100 ＊100 ＊100 ＊100 ＊100 200 ＊100</td><td rowspan="2">そ 他</td><td rowspan="2">面 接</td><td rowspan="2">600</td><td rowspan="2">900</td></tr><tr><td colspan="2">【2教科2科目】</td><td>300</td></tr></table> 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄 1. 「外」の英語において、リーディングとリスニングを課します(リスニングが免除となった場合を除き、リーディング及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります)。 2. 「外」は必須とします。 3. 「外」を除く教科・科目において、複数の教科・科目を受験している場合は、高得点科目を採用します。ただし、「地歴」、「公民」及び「理」において、それぞれ2科目を受験した場合は、それぞれ第1解答科目の得点を採用します。 4. 配点に＊印を付してある教科は、選択教科を表します。 5. 「外」の英語において、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点(200点満点)を英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。 ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、リーディング(100点満点)の得点を2倍(200点満点)にしたものを英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			配点 合計	教科 グループ	科 目 名 等	配点	教科 等	科目名 等	配点	国 地歴 公民 数 ① ② 理 外 情	国 地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総／歴総／公 公・倫、公・政経、(地総／歴総／公(再掲)) 数Ⅰ・数A、数Ⅰ 数Ⅱ・数B・数C 物基／化基／生基／地基、物、化、生、地 英(リスニングを含む) 情Ⅰ	＊100 ＊100 ＊100 ＊100 ＊100 200 ＊100	そ 他	面 接	600	900	【2教科2科目】		300
大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			配点 合計																		
教科 グループ	科 目 名 等	配点	教科 等	科目名 等	配点																			
国 地歴 公民 数 ① ② 理 外 情	国 地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総／歴総／公 公・倫、公・政経、(地総／歴総／公(再掲)) 数Ⅰ・数A、数Ⅰ 数Ⅱ・数B・数C 物基／化基／生基／地基、物、化、生、地 英(リスニングを含む) 情Ⅰ	＊100 ＊100 ＊100 ＊100 ＊100 200 ＊100	そ 他	面 接	600	900																		
【2教科2科目】		300																						
出 願 期 間	令和7年11月18日(火)～11月20日(木)																							
選 抜 期 日	令和7年12月13日(土)又は12月14日(日) 予備日：12月20日(土)又は12月21日(日) (面接は指定されたいずれか1日です。詳細は、受験票発送時に志願者本人に通知します。)																							
合 格 者 発 表 日	令和8年2月10日(火)																							
そ の 他	(注)本学では大学入学共通テストの成績請求は「チケット方式」を採用します。出願時にご留意ください。																							

学校推薦型選抜

No.11

実施学部・学科等名	社会インフォマティクス学環																																						
募 集 人 員	10名																																						
出 願 資 格	次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者 【基礎資格】 次の各号のいずれかに該当する者 (1)高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月までに卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者 【要件】 次のすべてに該当する者 (1)本学環が指定する令和8年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者 (2)出身学校長が責任をもって推薦できる者（1校当たり2名までとする） (3)学業成績が優秀で本学環での学習に強い意欲をもつ者 (4)合格した場合は入学を確約する者																																						
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストの成績、面接の結果及び出願書類により総合して行います。 <table><thead><tr><th colspan="4">大学入学共通テストの利用教科・科目名</th><th colspan="2">個別学力検査等</th><th colspan="2">配点</th></tr><tr><th>教科 グループ</th><th colspan="3">科 目 名 等</th><th>配点</th><th>教科等</th><th>科目名等</th><th>配点 合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>国 地歴 公民 数 ① ② 理 外 情</td><td>国 地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総/歴総/公 公・倫、公・政経、(地総/歴総/公(再掲)) 数Ⅰ・数A、数Ⅰ から1 ② 数Ⅱ・数B・数C 物基／化基／生基／地基、物、化、生、地 から1又は2 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から1 情Ⅰ</td><td>から1 又は2 から5 (ただし、 「数①」、 「数②」、 は必須。)</td><td>*100 *100 *100 *100 50 50 *100 *100 *100 *100</td><td>その他</td><td>面接</td><td>400</td><td>800</td></tr><tr><td colspan="4">【4教科5科目又は3教科5科目】</td><td>400</td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄 1. 「外」の英語において、リーディングとリスニングを課します(リスニングが免除となった場合を除き、リーディング及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります)。 2. 指定教科数・科目数を超えて受験している場合、次の①と②で示す教科・科目からなる5科目を採用します。 ①「数①」、「数②」(必須) ② 次のa、b、cにそれぞれ示した3科目の組み合わせのうち、最も高得点になるもの a. 「地歴」、「公民」から2科目と、以下から1つの組合せ ・「国」 ・「理」の第1解答科目 ・「外」 ・「情」 b. 「理」から2科目の組合せと、以下から1つの組合せ ・「国」 ・「地歴」、「公民」の第1解答科目 ・「外」 ・「情」 c. 以下から3つの組合せ ・「国」 ・「地歴」、「公民」の第1解答科目 ・「理」の第1解答科目 ・「外」 ・「情」 3. 「理」から2科目を選択する場合で、「物基／化基／生基／地基」を選択した場合は、当該出題科目において選択した2つの出題範囲の内容と同一名称を付した科目の選択は認めないこととします。 4. 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表します。 5. 「外」の英語において、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点(200点満点)を英語の得点とし、本学環が定めている配点に換算します。 ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、リーディング(100点満点)の得点を2倍(200点満点)にしたものを英語の得点とし、本学環が定めている配点に換算します。							大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等		配点		教科 グループ	科 目 名 等			配点	教科等	科目名等	配点 合計	国 地歴 公民 数 ① ② 理 外 情	国 地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総/歴総/公 公・倫、公・政経、(地総/歴総/公(再掲)) 数Ⅰ・数A、数Ⅰ から1 ② 数Ⅱ・数B・数C 物基／化基／生基／地基、物、化、生、地 から1又は2 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から1 情Ⅰ	から1 又は2 から5 (ただし、 「数①」、 「数②」、 は必須。)	*100 *100 *100 *100 50 50 *100 *100 *100 *100	その他	面接	400	800	【4教科5科目又は3教科5科目】				400			
大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等		配点																																	
教科 グループ	科 目 名 等			配点	教科等	科目名等	配点 合計																																
国 地歴 公民 数 ① ② 理 外 情	国 地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総/歴総/公 公・倫、公・政経、(地総/歴総/公(再掲)) 数Ⅰ・数A、数Ⅰ から1 ② 数Ⅱ・数B・数C 物基／化基／生基／地基、物、化、生、地 から1又は2 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓 から1 情Ⅰ	から1 又は2 から5 (ただし、 「数①」、 「数②」、 は必須。)	*100 *100 *100 *100 50 50 *100 *100 *100 *100	その他	面接	400	800																																
【4教科5科目又は3教科5科目】				400																																			
出 願 期 間	令和7年12月5日(金)～12月11日(木)																																						
選 抜 期 日	令和8年1月23日(金)、予備日：1月26日(月)																																						
合 格 者 発 表 日	令和8年2月10日(火)																																						
そ の 他	(注)本学では大学入学共通テストの成績請求は「チケット方式」を採用します。出願時にご留意ください。																																						

帰国生徒選抜

No.12

実施学部・学科等名	経済学部 経済学科		
募 集 人 員	若干名		
出 願 資 格	日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けている者（保護者が先に日本に帰国した後、引き続き単身で在留している者を含む）のうち、次の各号のいずれかに該当する者 (1)外国において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を令和 6 （2024）年 4 月 1 日から令和 8 （2026）年 3 月31日までに修了した者又は修了見込みの者で外国において最終学年を含めて 2 年以上継続して学校教育を受けた者 ただし、外国に設置されたものであっても日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学して教育を受けた期間は、外国において学校教育を受けた期間とみなさない。 (2)外国において、高等学校に対応する学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを修了した者及び令和 8 （2026）年 3 月31日までに修了見込みの者 (3)外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレアの資格証書を令和 6 （2024）年から令和 7 （2025）年に授与された者 (4)外国において、ドイツ連邦共和国の各州で大学入学資格として認められているアビトゥア資格を令和 6 （2024）年から令和 7 （2025）年に取得した者 (5)外国において、フランス共和国のバカロレア資格証書を令和 6 （2024）年から令和 7 （2025）年に授与された者 (6)外国において、グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE-A レベル資格）又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（国際 A レベル資格）を取得した者 (7)欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格（欧州バカロレア資格）を外国において所得した者 (8)外国において、国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者		
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを免除します。 面接（日本語）の成績及び出願書類を総合して評価します。 ・配点 <table><tr><td>面接・出願書類</td></tr><tr><td>300</td></tr></table>	面接・出願書類	300
面接・出願書類			
300			
出 願 期 間	令和 7 (2025)年11月 4 日(火)～11月 7 日(金)		
選 抜 期 日	令和 7 (2025)年11月27日(木)、予備日：11月29日(土)		
合 格 者 発 表 日	令和 7 (2025)年12月19日(金)		
そ の 他			

社会人選抜

No.13

実施学部・学科等名	経済学部 経済学科		
募 集 人 員	若干名		
出 願 資 格	出願時点で社会人の経験を3年以上(注)有し、令和8年3月31日までに年齢満21歳以上で、次の各号のいずれかに該当する者 (1)高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月までに卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者 (3)高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和8年3月31日までに合格見込みの者 (4)文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号） (5)高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年度文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者及び令和8年3月31日までに合格見込みの者 (注)「社会人の経験を3年以上」の対象となる期間と、高等学校の定時制課程及び通信制課程の在学期間は、重複しても構いません。		
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを免除します。 面接の成績及び出願書類を総合して評価します。 ・配点 <table><tr><td>面接・出願書類</td></tr><tr><td>300</td></tr></table>	面接・出願書類	300
面接・出願書類			
300			
出 願 期 間	令和7年11月4日(火)～11月7日(金)		
選 抜 期 日	令和7年11月27日(木)、予備日：11月29日(土)		
合 格 者 発 表 日	令和7年12月19日(金)		
そ の 他			

社会人選抜

No.14

実施学部・学科等名	観光学部 観光学科						
募 集 人 員	若干名						
出 願 資 格	令和 8 年 3 月31日までに年齢満25歳に達し、<u>社会人の経験を 3 年以上</u>(注)有する者 で、次の各号のいずれかに該当する者 (1)高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和 8 年 3 月までに卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和 8 年 3 月までに修了見込みの者 (3)高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和 8 年 3 月31日までに合格見込みの者 (4)文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号） (5)高等学校卒業程度認定審査規則（令和 4 年度文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者及び令和 8 年 3 月31日までに合格見込みの者 (注) <u>社会人の経験を 3 年以上</u>には、夜間又は通信制以外の学校在学期間は含めません。						
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを免除し、小論文、面接の結果により総合して行います。 ・配点 <table><tr><td>小論文</td><td>面 接</td><td>合 計</td></tr><tr><td>200</td><td>300</td><td>500</td></tr></table>	小論文	面 接	合 計	200	300	500
小論文	面 接	合 計					
200	300	500					
出 願 期 間	令和 7 年11月18日(火)～11月20日(木)						
選 抜 期 日	令和 7 年12月13日(土)、予備日：12月20日(土)						
合 格 者 発 表 日	令和 8 年 2 月10日(火)						
そ の 他							

総合型選抜

No.15

実施学部・学科等名	観光学部 観光学科																
募 集 人 員	20名																
出 願 資 格	以下の(1)～(4)のすべての要件を満たす者 (1)次の①から⑤のいずれかの要件を満たす者 ①高等学校若しくは中等教育学校を令和6年度に卒業した者及び令和8年3月までに卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を令和6年度に修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者 ③専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後で令和6年度に修了した者及び令和8年3月31日までに修了見込みの者 ④高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に令和6年度以降に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）で令和8年3月31日までに19歳に達するもの及び令和8年3月31日までに合格見込みの者で、令和8年3月31日までに18歳に達するもの ⑤高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年度文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に令和6年度以降に合格した者で令和8年3月31日までに19歳に達するもの及び令和8年3月31日までに合格見込みの者で、令和8年3月31日までに18歳に達するもの (2)上記(1)①で出願する場合には、調査書における全体の学習成績の状況が3.5以上の者（出願時直前の学期までの成績による） (3)次のいずれかの成績を修めた者又は資格を有する者 <table border="1"> <thead> <tr> <th>検定試験・各種資格の名称</th><th>スコア・等級</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケンブリッジ英語検定（注1）</td><td>140以上</td></tr> <tr> <td>実用英語技能検定（英検）（注2）</td><td>2級以上</td></tr> <tr> <td>「GTEC」検定版（4技能）（注3）</td><td>960以上</td></tr> <tr> <td>IELTS（アカデミック・モジュール）（注4）</td><td>4.0以上</td></tr> <tr> <td>TEAP（4技能）</td><td>225以上</td></tr> <tr> <td>TEAP CBT（4技能）</td><td>420以上</td></tr> <tr> <td>TOEFL iBT®テスト（注5）</td><td>42以上</td></tr> </tbody> </table> （注1）対象となる試験名は、以下のとおりです。 A2 Key、A2 Key for Schools、B1 Preliminary、B1 Preliminary for Schools、B2 First、B2 First for Schools、C1 Advanced、C2 Proficiency （注2）「従来型の英検」、「英検S-CBT」（「英検CBT」、「英検1day S-CBT」を含む）、「英検S-Interview」を含みます。いずれも級の合格のみで判断し、英検CSEスコアは用いません。 （注3）「CBTタイプ」を含みます。アセスメント版は対象としません。 （注4）「Computer-delivered IELTS Academic」を含みます。 （注5）TOEFL iBT®テストのTest Date スコアのみを出願スコアとして活用します（My Bestスコアは活用しません。）。 (4)合格した場合は入学を確約する者	検定試験・各種資格の名称	スコア・等級	ケンブリッジ英語検定（注1）	140以上	実用英語技能検定（英検）（注2）	2級以上	「GTEC」検定版（4技能）（注3）	960以上	IELTS（アカデミック・モジュール）（注4）	4.0以上	TEAP（4技能）	225以上	TEAP CBT（4技能）	420以上	TOEFL iBT®テスト（注5）	42以上
検定試験・各種資格の名称	スコア・等級																
ケンブリッジ英語検定（注1）	140以上																
実用英語技能検定（英検）（注2）	2級以上																
「GTEC」検定版（4技能）（注3）	960以上																
IELTS（アカデミック・モジュール）（注4）	4.0以上																
TEAP（4技能）	225以上																
TEAP CBT（4技能）	420以上																
TOEFL iBT®テスト（注5）	42以上																

選 抜 方 法 等	大学入学共通テストを免除します。 第1次選考：書類選考とし、出願書類により総合して行います。 第2次選考：第1次選考合格者に対しプレゼンテーションを課します。加えて面接を行い、その結果により選抜を行います。		
	第1次選考	第2次選考	
	書類選考	プレゼンテーション	面接
	300	300	300
出 願 期 間	令和7年9月1日(月)～9月3日(水)		
選 抜 期 日	第1次選考：志願書及び調査書等により選考を行います。 第2次選考：令和7年10月18日(土)、10月19日(日) ※〔予備日：10月25日(土)、10月26日(日)〕		
合 格 者 発 表 日	第1次選考結果：令和7年9月24日(水)までに郵送により通知 第2次選考結果：令和7年11月4日(火)		
そ の 他			

私費外国人留学生選抜

No.16

実施学部・学科等名	経済学部 経済学科、システム工学部 システム工学科、観光学部 観光学科
募 集 人 員	各学部若干名
出 願 資 格	次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者 【基礎資格】 次の各号のいずれかに該当する者 (1)外国に所在し外国の教育制度に基づく教育機関において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和8（2026）年3月31日までに修了見込みの者 (2)外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずる者を含む。次号において同じ。）に合格した者で、令和8（2026）年3月31日までに18歳に達するもの (3)外国に所在し外国の教育制度に基づく教育機関において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。）で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了したものと及び令和8（2026）年3月31日までに修了見込みのもの (4)外国に所在し外国の教育制度に基づく教育機関において、高等学校に対応する学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを修了した者及び令和8（2026）年3月31日までに修了見込みの者 (5)スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格（国際バカロレア資格）を外国において取得した者 (6)ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格（一般的大学入学資格）を外国において取得した者 (7)フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格（バカロレア資格）を外国において取得した者 (8)グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE-Aレベル資格）又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（国際Aレベル資格）を外国において取得した者 (9)欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格（欧州バカロレア資格）を外国において所得した者 (10)国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）から教育活動等に係る認定を受けた外国に所在する教育施設に置かれる12年の課程を修了した者 【要件】 次のすべてに該当する者 (1)日本国籍を有しない者（日本国の永住許可を得ている者を除く） (2)出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者及び取得できる見込みの者 (3)独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験を受験した者で、出願する学部の指定する【日本留学試験、TOEIC Listening & Reading Test 又は TOEFL Test における出願要件】を満たす者 (4)TOEIC Listening & Reading Test 又は TOEFL Test のいずれかの成績が、出願する学部の指定する【日本留学試験、TOEIC Listening & Reading Test 又は TOEFL Test における出願要件】を満たす者

出 願 資 格	【日本留学試験、TOEIC Listening & Reading Test 又は TOEFL Test における出願要件】										
	試験 学部・学科		日 本 留 学 試 験					TOEIC Listening & Reading Test	TOEFL Test iBT (インターネット試験)		
			日本語	総合 科目	理科	数 学	得 点 等			摘 要	
	経済学部	経済学科	○	○	×	「コース 1」	「日本語」の得点が200点以上 「総合科目」と「数学」の合計得点が240点以上	「総合科目」「数学」の出題言語は、日本語、英語のいずれも可とします。	450点 以上	42点 以上	
	システム工学部	システム工学科	○	×	○	「コース 2」	「日本語」の得点が200点以上 「数学」と「理科」の合計得点が240点以上	「理科」の選択科目は、物理、化学、生物のうち任意の2科目を選択とします。各科目の出題言語は、日本語、英語のいずれも可とします。	410点 以上	42点 以上	
観光学部	観光学科	○	総合科目 又は 理科 のいずれか		「コース 1」 又は 「コース 2」 のいずれか	各科目の得点が平均点以上	「理科」の選択科目は、物理、化学、生物のうち任意の2科目を選択とします。「総合科目」「理科」「数学」の出題言語は、日本語、英語のいずれも可とします。	450点 以上	42点 以上		
(注 1) 日本留学試験の成績を利用できるのは、令和 6 (2024) 年度の 6 月実施分若しくは11月実施分又は令和 7 (2025) 年度の 6 月実施分のいずれかの試験結果とします。 (注 2) TOEIC Listening & Reading Test のスコアは、出願期間最終日よりさかのぼること 2 年以内に受験した試験結果とします。 (注 3) TOEFL Test のスコアは、出願期間最終日よりさかのぼること 2 年以内に受験した試験結果とします。Test Date Scores のみ有効です。My Best Scores は利用できません。 (注 4) 日本留学試験の「日本語」に関して、「記述」の得点は利用しません。											
選 抜 方 法 等	日本留学試験の成績、本学が実施する面接の結果及び出願書類により総合して行います。 なお、面接は日本語で行います。										
	・配点										
	日本留学試験 [令和 6 (2024) 年 4 月実施分若しくは11月実施分又は 令和 7 (2025) 年 6 月実施分のいずれか]					本学が実施する 学力検査等	配点 合計	備 考			
	日本語 ('記述'は除く)		総合 科目	理科	数学	面接 (日本語)					
	経済学部	○	○	×	○	○	2000	上段の○、※印は配点対象であることを表し、下段の数字は配点を表します。 なお、日本留学試験の科目の選択、※印の「総合科目」と「理科」の選択は、【日本留学試験、TOEIC Listening & Reading Test 又は TOEFL Test における出願要件】によります。			
		400	200	—	200	1200					
	システム工学部	○	×	○	○	○	1600				
		400	—	200	200	800					
	観光学部	○	※		○	○	1600				
		400	200	200	800						
出 願 期 間											
令和 7 (2025) 年 8 月 22 日(金)～ 9 月 10 日(水)											
選 抜 期 日											
令和 7 (2025) 年 10 月 11 日(土)											
合 格 者 発 表 日											
令和 7 (2025) 年 10 月 31 日(金)											
そ の 他											

学生募集要項等の発表及び請求方法

1. 学生募集要項等の発表予定時期

学 生 募 集 要 項 等 の 種 別		発表予定時期	備 考
入 学 者 選 抜 要 項(本冊子)		7月下旬	web閲覧のみ
一般選抜学生募集要項(全学部在中)		10月上旬	web閲覧のみ
学校推薦型選抜学生募集要項	教育学部	7月下旬	入学願書付
	観光学部	7月下旬	
	社会インフォマティクス学環	7月下旬	
学校推薦型選抜・学校推薦型選抜(スポーツ)・ 学校推薦型選抜(簿記)学生募集要項	経済学部	7月下旬	
学校推薦型選抜・ 学校推薦型選抜(女子枠)学生募集要項	システム工学部	7月下旬	
社会人・帰国生徒選抜学生募集要項	経済学部	9月中旬	
社会人選抜学生募集要項	観光学部	9月中旬	
総合型選抜学生募集要項	観光学部	7月下旬	
私費外国人留学生選抜学生募集要項		7月下旬	web閲覧のみ

2. 学生募集要項等の請求方法

※Eメールによる請求はできません。

(1) 本学ホームページからテレメールを利用して請求する場合

本学ホームページ(<https://www.wakayama-u.ac.jp/admission/>)からテレメールを利用して大学案内及び募集要項等の資料を請求できます。詳細は本学ホームページをご覧ください。

(2) 株式会社フロンページの発送サービスで請求する場合

◆テレメールでの請求方法

①インターネット(パソコン・スマホ・携帯電話)をご利用ください。



インターネット(PC・スマホ・携帯電話)の場合	
http://telemail.jp PC・スマホ・携帯電話 各社共通アドレス	
バーコード バーコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。	

②資料請求番号(6桁)を入力してください。

資 料 名		資料請求番号	料金(予定)	発送開始予定日
大学案内		565842	215円	7月20日頃
学校推薦型選抜募集要項	※教育学部	585812	180円	7月30日頃

※学校推薦型選抜(きのくに教員希望枠、地域(紀南)推薦枠)は、本要項には含まれていません。資料請求対象外です。

資 料 名		資料請求番号	料金(予定)	発送開始予定日
学校推薦型選抜学生募集要項	観光学部	545932	180円	7月30日頃
	社会インフォマ ティクス学環	707732	180円	7月30日頃
学校推薦型選抜・学校推薦型選抜(スポーツ)・ 学校推薦型選抜(簿記)学生募集要項	経済学部	585822	250円	7月30日頃
学校推薦型選抜・ 学校推薦型選抜(女子枠)学生募集要項	システム工学部	585832	250円	7月30日頃
社会人・帰国生徒選抜学生募集要項	経済学部	545912	215円	9月30日頃
社会人選抜学生募集要項	観光学部	545942	180円	9月30日頃
総合型選抜学生募集要項	観光学部	587832	180円	7月30日頃

※料金はお届けした資料に同封されている支払方法に従いお支払いください。
(支払いに際して手数料が別途必要になります。)

※発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。その際は、発送開始日から3～4日程で資料が届きます。

※発送開始日以降に請求された資料は請求してから3～4日程で届きます。ただし、受付日時や地域、配達事情によっては、1週間以上かかる場合もあります(お届けまでの日数は請求日の翌日を起算とします。)。なお、10日以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターへお問い合わせください。

※募集要項は出願締切日の一週間前で受付は終了となります。

(2)の請求方法への問合せ先：IP電話 050-8601-0102 (9:30～18:00)

(3)大学情報センター株式会社の発送サービスで請求する場合

◆「モバっちょ」での請求方法

携帯電話・スマホ・パソコンから請求できます。

【URL】 <http://djcm-mb.jp/wakayama-u3/>

「モバっちょ」



資 料 名	発送開始予定日	料金(予定)
大学案内	7月20日	250円

(料金の支払い方法)

パソコンから請求した場合は、クレジット払い、コンビニ後払いから選択してください。

①請求時払い：携帯払い、スマホ払い、クレジットカード払いができます。別途手数料50円が必要です。

※携帯電話・スマホの機種、携帯電話会社との契約状況により、通話料金と一緒に支払いできない場合があります。その場合、コンビニ後払いを選択してください。

- ②コンビニ後払い：資料到着後、コンビニでお支払いください。別途手数料126円が必要です。

(3)の請求方法への問合せ先：モバっちょカスタマーセンター

TEL 050-3540-5005（平日10:00～18:00）

(4)本学へ直接来学し入手する場合

配 布 場 所	配 布 時 間
和歌山大学入試課(南1号館3階)	平日の午前9:00～17:00(12:00～13:00を除く)
南1号館玄関ホール(和歌山大学バス停前)	平日の上記配布時間帯以外及び土日祝日でも配布しています。建物入口にある警備室にお声がけください。

学部等の紹介

1. 教育学部

教育学部は、その前身を明治初期に発足した師範学校に置き、現在に至るまで150年近くの歴史を持った本学でもっとも古い学部です。昭和24年（1949年）に新制和歌山大学となり、一貫して教員養成を通じた地域社会への貢献に努めてきました。

令和3年（2021年）、文部科学省の中央教育審議会は「令和の日本型学校教育」として全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現を掲げました。この背景には、教育を取り巻く環境の変化、たとえば公立小学校における特別支援学級の増加や教科担任制の導入、ICTを活用した多様な学びへの対応など、現在の学校教員に幅広い専門性が求められている現状があります。また、児童・生徒数の減少による小・中学校の小規模校化が都市部においても進行している和歌山県では、小規模校教育に対応できる教員を養成することが喫緊の課題となっています。

本学部では、これらの教育課題と向き合いながら、「地域とともに学びの未来を拓く教師」を育てるため、令和5年（2023年）度より学校教育教員養成課程を改革し、学校教育コース・支援教育コースの2つのコースを設置しました。

学校教育コースは、子どもの発達や教科のつながりを理解し、現代的教育課題の解決に取り組む学校教員の養成を、支援教育コースは、特別な教育的ニーズを有する子どもの特性を多角的に理解し支援できる学校教員の養成をそれぞれ目指しています。

本学部の教員養成カリキュラムは、すべての学生による小学校教諭1種免許状の取得を土台として、4年間にわたり理論と実践を往還しながら子どもと教育に関する専門的な分野について学びます。新しいカリキュラムでは、新たにコース共通科目を設定します。コース共通科目では、教育学部に所属するすべての学生が学ぶ初年次教育に加え、さまざまな教育課題をテーマにした授業を多く配置することで、現在の学校をとりまく多種多様な事象を多面的・多角的に学ぶ機会を設けます。また3年次後期には、さまざまな校種の学校園や小規模校における教育実習、学生自身が計画した各種体験活動、留学や資格取得等に専念することもできる期間を新たに設定します。これらを通して、地域とともに学びの未来を拓く教師としての基盤の獲得を目指します。

学校教育コース

このコースは、子どもの発達・教科のつながりや、小中接続や幼小接続といわれる学校間のつながりを捉え、現代的教育課題の解決に取り組む学校教員の養成を目的としています。

カリキュラムは、小学校教諭1種免許状の取得を土台として、4年間にわたり理論と実践を往還しながら子どもと教育に関する専門分野を深く学ぶことで、各教科・領域の指導法や今日の教育課題に対応できる力量の基盤を身につけます。あわせて、中学校・高等学校教諭免許状の取得を意識した教科教育の分野では、学校における各教科の内容及び指導法に関する高い力量を身につけます。

このコースの卒業要件として、小学校教諭1種免許状の取得が課せられます。さらに幼稚園又は中学校・高等学校、特別支援学校の教育職員免許状の複数取得によって総合的な教育力を兼ね備えた教員を目指し、より専門性の高い校種と教科を選択し専攻していくことを推奨しています。卒業後の進路は、小学校の教員をはじめ、中学校・高等学校・幼稚園・特別支援学校の教員のほか、大学院進学などがあります。

支援教育コース

このコースは、特別な教育的ニーズを有する子どもへの支援ができるための専門的な知識及び技術の獲得を目的としています。

カリキュラムは、通常の教師としての資質を高めながら、4年間にわたり特別な教育的ニーズを有する子どもの特性を深く理解するために特別支援教育に関する知識及び技術を学ぶとともに、教育の時代的な変化の背景にある教育の原理についても学ぶことで、表面的なスキルの修得に終わらない深い学びを目指します。さらに子どもと接する機会を多く設けることで、理論と実践を往還しながら学ぶことができる授業を展開しています。

このコースの卒業要件として、小学校教諭1種免許状及び特別支援学校教諭1種免許状の取得が課せられます。なお、本人の希望により、他の各教科の教育職員免許状も取得可能です。卒業後の進路は、特別支援学校の教員をはじめ、小学校・中学校・高等学校・幼稚園の教員のほか、大学院進学などがあります。

2. 経済学部

本学部は、1922年（大正11年）に創立された旧制和歌山高等商業学校以来の伝統を受け継ぎ、100年にわたって社会に多くの優れた人材を送り出してきました。この間、時代と社会の要請にこたえながら、経済社会の理解に不可欠な学問分野である経済学、経営学、会計学、情報学、法学の教員を揃え、論理的思考力、専門知識、実務能力、幅広い教養を有する人材の養成に努めてきました。卒業後の進路は、金融・製造・流通・情報・公務など多様な業種にわたり、昨今の厳しい就職状況下でも就職率は高い水準を保っています。また、本学大学院経済学研究科修士課程に進学する学生もいます。優秀な成績を修めた学生は、3年次修了時点で大学院に進学できる制度が設けられています。

近年の多様化・複雑化する社会においては、複数の学問分野にまたがる専門知識を活用し、一人ひとりが他の人と協力しながら問題を発見・解決する能力が求められています。そのような能力・資質を身につけるために、本学部のカリキュラムは、経済学、経営学、会計学、情報学、法学の各学問領域での体系的な学修に加え、これらのうちのいくつかの学問領域の学修を組み合わせています。その上で、卒業後の進路において必要となる専門知識や実務能力などを考慮して横断的な学問領域における授業科目を体系化しています。学生は初年次から将来の自分の姿を思い描きながら主体的・計画的に学修を進めます。このカリキュラムでは、学修目標とそれによって目指せる可能性のある代表的な進路を想定し、次の「プログラム」及び「プログラム」に所属しつつ更に専門的な学修を極める「エキスパート・コース」を設けています。

「グローバル・ビジネス&エコノミー」

グローバルな視点から経済領域・経営領域で種々の課題に対応できる能力を身に付け、グローバル企業、国際機関、NPO・NGOなどにおいて中心的な役割を担える人材となることを目指します。

「ビジネスデザイン」

新たな視点から事業、企業の再活性化に取り組める能力を身に付け、企業の企画部門などにおい

て、高い企画力を持って組織変革や業務改善を担える人材や、起業家などを目指します。

「企業会計・税法」

会計学及び税法の視点からの実務能力を身に付け、企業の経理・財務部門において、会計・法制度の知識をもとに組織活性化の支援に取り組む人材や、税理士、公認会計士、不動産鑑定士、国家・地方公務員などを目指します。

「地域公共政策・公益事業」

地域社会における課題解決能力を身に付け、地域の活性化を支援する国家・地方公務員や、公益性の高い事業主体の職員などを目指します。

「サステイナブル・エコノミー」

経済における持続可能性を実現できる多様性・柔軟性を有する能力を身に付け、企業のCSR関連部門、社会的企業、環境NGO・NPOなどにおいて、多様な利害関係者と各組織の橋渡しとなれる人材となることを目指します。

○エキスパート・コース

3つのユニット（「グローバル・ビジネス&エコノミーユニット」「都市と地域ユニット」「市場・企業分析ユニット」）から希望するユニットを選択し、それぞれの専門分野の研究に必要な基礎的能力を修得します。それをふまえて大学院進学を目指します。

3. システム工学部

システム工学部システム工学科の特色

近年、科学技術の急速な発展に伴い、様々な工業技術が高度化・専門化してきました。また一方で、複数の専門分野の成果を複合的・横断的に応用することが、新しい技術開発や地域産業の再生につながるようになってきました。つまり、現在社会において、「高度な専門性」と「複数の技術領域を見通す力」の両方が求められています。このような産業界や社会の要請に、より柔軟に対応できるように、システム工学部では、それまでの5学科を1つの学科（システム工学科）に統合し、10の教育研究課程（メジャー）を設けました。これにより、学生自らが将来を志向し、各自の興味や資質に見合った2つのメジャーを主体的に選択すること（ダブルメジャー制）でコースを構成し、複数の専門分野を学ぶことができるようになりました。

さらに将来に目を向けると、情報関連技術を基盤とする先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、経済発展と社会的課題の解決を両立していく新たな社会であるSociety 5.0に対応できる工学人材を創出することも求められるようになってきています。これを受けてシステム工学部では、令和5年度に、将来にわたる技術動向を精査して、メジャーを3つの大きな専門分野の括り（領域）に分類し、これまでの10メジャーを8メジャーに再編しました。主な特色として、情報教育を重視し、更なる充実を図るとともに、システム工学科で共通化しました。これにより、専門分野にかかわらず、情報技術をベースとした広範かつ柔軟な専門性を養うことができます。また、2年終了時に、学部のための4年制に加えて、学部から大学院博士前期課程までの一貫教育である6年制に進む

選択も可能としました。6年制では、より高度かつ実践的な専門教育を行うことにより、複数の専門技術を有機的に融合させて課題の解決に導く能力をさらに高めることができます。なお、再編後もこれまでどおり、ダブルメジャー制によって、領域にとらわれずに複数の専門分野について学修することができます。

以下に、各メジャーの教育目的とメジャーの組み合わせによるコースをいくつか示します。

• ロボティクスメジャー

ロボットなどに代表されるメカトロニクス機器を効率的に設計し安全に運用するための技術を身につけます。対象となる分野は幅広く、ソフトウェアからハードウェアまで、機械＋電気＋情報についてバランスよく学びます。

• 電子物理工学メジャー

物理学、光工学、電気電子工学、材料工学などの分野を扱います。物質科学に関する基礎を身につけた上で、フォトンクスやエレクトロニクスの材料開発から応用技術を学びます。

• 化学メジャー

身の回りでは、原子や分子の結びつきにより生命活動や様々な物質・材料形成が行われています。このような生命活動に関わる物質や、身の回りの物質・材料の性質を理解し、その創造や性能の発現、産業への応用に関する技術について学びます。

• 環境科学メジャー

環境を守り、育て、次世代に継承する人材の育成をめざして、環境破壊を未然に防ぐ、自然災害から命や暮らしを守る、地球温暖化に対応する、美しい風景を創造するなど、持続可能な社会の実現に貢献するための知識と技能を学びます。

• 建築・ランドスケープメジャー

環境に配慮した建築、インテリアデザインや都市計画、身近な自然景観や森林、様々なスケールや地域における環境と生活空間を対象として、自然と調和する技術や建築設計、地域づくりについて学びます。

• 情報システムデザインメジャー

人や社会を豊かにする情報システムを企画・設計・開発する能力を身につけます。情報技術に支えられた社会の仕組みを知り、新しい情報システムの可能性を探究するために、ソフトウェア開発や高度なコミュニケーションについて学びます。また、情報学領域共通でデータサイエンス、人工知能・機械学習について学びます。

• ネットワークコンピューティングメジャー

あらゆる人やモノがネットワーク接続されるデジタル社会において、人や社会を守り、新たな価値を創造する技能を身につけます。インターネットやモバイル通信だけでなく、センサを社会活用するIoT、情報セキュリティ、ネットワーク分析等について学びます。また、情報学領域共

通でデータサイエンス、人工知能・機械学習について学びます。

・クロスリアリティ・情報デザインメジャー

現実世界と仮想世界（メタバース）が融合する時代に向けて、現実世界に働きかけるロボティクス、メタバースを実現するコンピュータグラフィックス（CG）、それらと人を繋ぐ仮想現実（VR）、拡張現実（AR）、ならびに情報デザインについて学びます。また、情報学領域共通でデータサイエンス、人工知能・機械学習について学びます。

代表的なコースとそれを構成するメジャー、期待される就職先

コース名	メジャー名	期待される就職先
メカトロニクス	・ロボティクス ・電子物理工学	機械、電機、自動車、精密機械、光学、医療応用機器、電子部品
知能機械システム	・ロボティクス ・情報学領域から1つを選択	自動車、電機、精密機械、生産機械、医療機器、情報通信産業、サービス産業
ナノテクノロジー	・電子物理工学 ・化学	半導体・電子部品、精密機器、化学・医薬品・化粧品、素材
先端情報ネットワーク	・情報システムデザイン ・ネットワークコンピューティング	情報通信産業を含む幅広い産業におけるソフトウェア・インフラ・AI・ネットワーク・セキュリティエンジニア
社会情報システム	・ネットワークコンピューティング ・クロスリアリティ・情報デザイン	情報通信産業を含む幅広い産業におけるネットワーク・インフラ・AI・CG/VR/ARエンジニア、UX/UIデザイナー
創造情報デザイン	・クロスリアリティ・情報デザイン ・情報システムデザイン	情報通信産業を含む幅広い産業におけるソフトウェア・AI・Web・CG/VR/ARエンジニア、UX/UIデザイナー
環境デザイン	・環境科学 ・建築・ランドスケープ	公務員(土木、建築、造園)、建設・住宅、環境プラント
環境化学	・環境科学 ・化学	化学・環境職公務員、環境プラント、化学メーカー

○システム工学部では、スーパーサイエンスティーチャープログラムを設けています。これはシステム工学部卒業後、本学教育学研究科専門職学位課程（教職大学院）に進学し中学校理科又は中学校数学の教員免許の取得を目指すプログラムです。

4. 観光学部

21世紀は「観光の時代」。世界のあらゆる国や地域で最も有望な成長分野として注目されるのが観光です。日本においても観光は戦略産業と位置づけられ、官民一体での「観光立国」実現に向けた政策や取組が加速するなか、観光産業や行政の現場と密接に連携しながら、新しい観光学の創造及び観光を支えるに相応しい豊かな教養と専門性、さらにはグローバル時代に対応したハイレベルな国際的・学際的視点を有する観光人材の輩出がますます期待されています。和歌山大学観光学部は、

観光教育研究における日本の、そしてアジアの拠点として、これらの人材養成に応えるべくさらに進化します。

観光学部の特徴

- ①観光学は人間の生活・文化に関わるあらゆる分野を総合した学問であることから、人文・社会科学から自然科学までの幅広い分野を融合的・横断的に学ぶことのできる充実したカリキュラムを用意しています。
- ②最先端の観光理論を学ぶことはもちろん、教員と学生が自治体と連携して地域課題の解決に取り組むプログラムや海外の連携大学等と共同で取り組むエリアスタディ等の機会を通じて、社会の各方面から即戦力として期待される実践力が身につきます。
- ③ハイレベルな観光人材に相応しい教養の醸成を重視した科目を配置するほか、「Global Program (GP2.0)」の導入を通じて国際化時代における言語面でのバリアフリー化を進めます。

5. 社会インフォマティクス学環

社会インフォマティクス学環の特徴

私たちの暮らしている社会は、気候変動や新しい技術など、様々な要因によって変化をつづけています。こういった変化の中で社会的課題にうまく対応するには、情報化社会のビッグデータから正しい情報を得るための情報処理力と、社会を支える経済・ビジネス・行政活動において適切な対応を行うための社会科学に基づく分析力が必要です。我が国が目指す新しい社会では、データの収集や分析だけでなく、得られた情報から新たな価値や方向性を創造し、社会に向けて発信できる人材が求められます。社会インフォマティクス学環は、文理融合の、すなわち、社会（経済、産業、文化など社会の多様な概念や実態）に対してインフォマティクス（情報技術により分析・把握、変革）を実践する人材の育成を目的とし、社会インフォマティクス人材の育成に向けて、次のような特色ある教育を実践していきます。

- ①和歌山大学の学部を横断した教育：経済学部、システム工学部、観光学部、データ・インテリジェンス教育研究センターが密接に連携し分野横断的な知識や能力を身につける教育を実現します。
- ②実データを活用した教育：地方自治体、総務省統計局統計データ利活用センター、企業等有する実データを用いた実践教育を行います。
- ③自治体や企業等と連携した実践的な教育：自治体や企業等と連携し、社会における課題解決に資する実践的な教育を実施します。
- ④少人数教育による充実したサポート体制：入学定員30名に対し、担当教員は15名と充実したサポート体制で教育にあたります。学生と教員との距離も近く、学生個人の能力にあわせたきめ細かな教育を実施します。

授業科目は卒業までに(1)ビジネスサイエンス力、(2)データ利活用力、(3)企画力・実践力・発信力の3つの能力を身につけることを目的に設定されています。また、その内容は汎用性を身につける

ために経済学・観光学を中心とした社会科学とデータサイエンスや情報学を中心とした工学の基盤となる科目から始まり、専門性を高めることを目標とした4つの応用領域からなる科目群を用意しています。

- ①地方自治&産業系科目群：地方国立大学で培った地域活性化やデータを利用したノウハウを学生に教授し、国内外に発信していくことを目標とする。
- ②エネルギービジネス&ファイナンス系科目群：ファイナンスのデータ分析・評価の裏付けを教授し、実践的なDX人材やグリーン人材を輩出することを目標とする。
- ③観光サービス系科目群：観光サービス系科目では多様な人々とデータの活用を通してコミュニケーションの取れる協働性があり企画力を発揮する人材を涵養することを目標とする。
- ④インフォマティクス系科目群：データサイエンスからインテリジェンスへの変革を教授し、社会科学を理解し技術的専門性を実践できる人材を目標とする。

これにより、

- ①情報技術に強い、公務員や地域活性化に資する人材
- ②情報技術に強い、グリーン人材やエネルギー人材
- ③情報技術に強い、マーケティングや観光サービス人材
- ④社会問題のファンダメンタルな分析に強い、情報処理やDX人材

が養成され、地方自治体、エネルギー産業、金融業、商社、コンサルティングファーム、観光ビジネス、IT企業等への就職が目指せます。

さらに、学びを定着させ社会実装力を養うために、早い段階から自治体や企業等と連携した実践的な社会課題解決を行う演習を設けています。これらにより、本学環はこれからの時代に必要の人材育成の場となっています。

入試に関する問合せ先

和歌山大学

《一般選抜照会先》

入試課

〒640-8510 和歌山市栄谷930

TEL 073-457-7116

《特別選抜及び学部等照会先》

【教育学部】

学務課 学部等支援室 教育学部係

TEL 073-457-7219

【経済学部】

学務課 学部等支援室 経済学部係

TEL 073-457-7805

【システム工学部】

学務課 学部等支援室 システム工学部係

TEL 073-457-8021

【観光学部】

学務課 学部等支援室 観光学部係

TEL 073-457-8542

【社会インフォマティクス学環】

学務課 学部等支援室 社会インフォマティクス学環係

TEL 073-457-8045

〈注意〉

- 入学者選抜に関する全ての事項は、志願者本人がこの選抜要項及び各学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- この入学者選抜要項以外に重要な通知がある場合は、本学ホームページの「入試情報」(<https://www.wakayama-u.ac.jp/admission/>)でお知らせします。
- 電話での照会は、祝日及び年末年始(12月29日～1月3日)を除く、月～金曜日の9時から17時(12時から13時は除く)に、この選抜要項及び各学生募集要項を手元に置き、原則として志願者本人が行ってください。